

健康サポート薬局の状況等

健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）

調査概要

○健康サポート薬局を対象とした調査概要

- 令和6年度の予算事業において、健康サポート薬局及び健康サポート薬局の利用者に対する調査を実施。
- 健康サポート薬局を対象とした調査については、健康サポートの取組内容、メリット・デメリット、効果・課題、また認知度を高めるための取組内容などについて実態を全国網羅的に把握することを目的とした。
- 健康サポート薬局の利用者を対象とした調査については、健康サポートを受けた利用者における、健康サポート薬局への認知状況、健康サポートを受けたことによるメリットや効果などの個人の意識を把握することを目的とした。
- 調査期間は令和6年12月2日から令和7年1月14日。

○調査対象と回収結果

- 令和6年9月30日時点で厚生労働省に健康サポート薬局としての届出を行っている全ての健康サポート薬局と、健康サポート薬局ごとに、当該健康サポート薬局が提供する健康サポートの取組の利用者のうち最大10人を調査対象とした。

調査対象	客体数	有効回収数	有効回収率
健康サポート薬局	3,226軒 ※1	1,202軒	37.3%
健康サポートの利用者	－	1,065人	※2

※1：3,232軒に発送したが、このうち6軒は宛先不明で返送された。このため客体数を3226軒に修正し、この客体数をもとに有効回収率を算定した。

※2：健康サポート利用者を対象とした調査の客体数、有効回収率は、健康サポート薬局ごとに最大10人の利用者を対象とするという条件で調査したため記載しない。

※3：薬局施設票 問5「自局の届出・認定状況」が「健康サポート薬局」と回答しなかった薬局も客体数、有効回収数、有効回収率に含まれている。

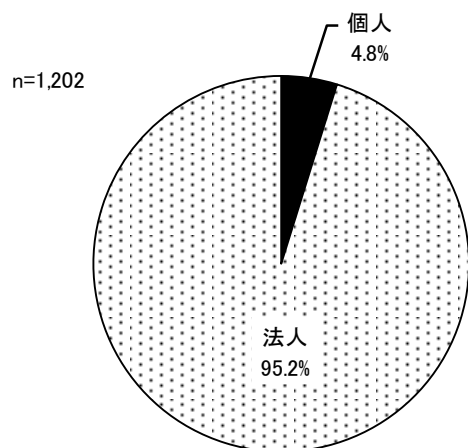
薬局の基本属性等

<健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）>

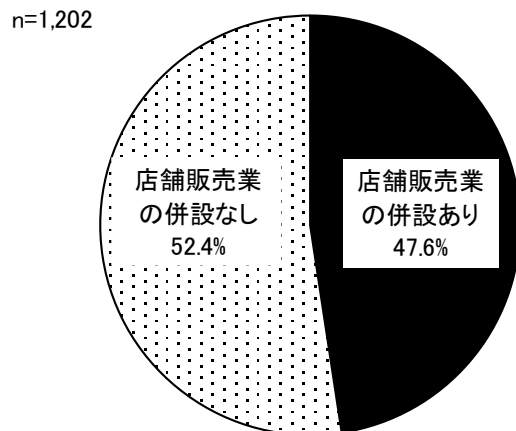
- ・ 店舗販売業の併設状況について、「店舗販売業の併設なし」が52.4%であった。
- ・ 薬局の立地については、医療機関の門前の割合が高いが、面分業も15.6%あった。

薬局の基本属性等

①開設主体



②店舗販売業の併設状況

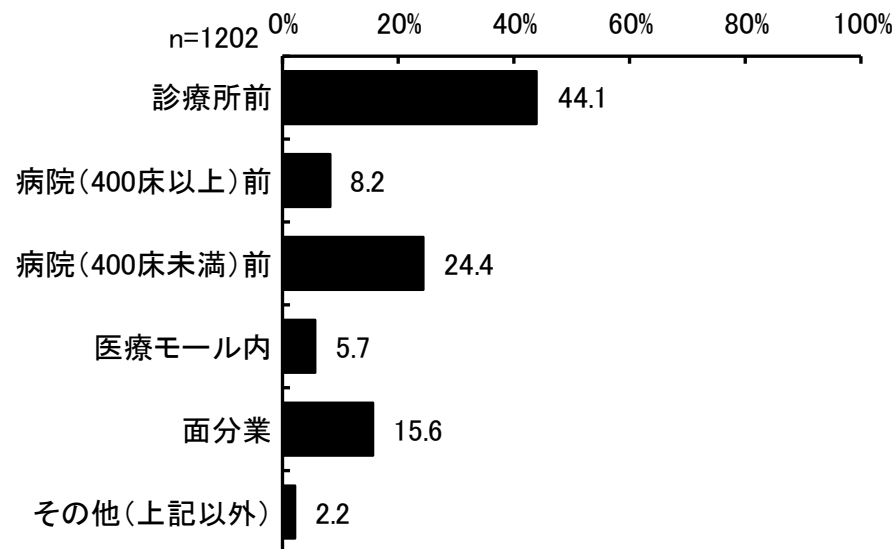


③同一グループ内の薬局店舗総数

単位：店舗

	調査数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
合計	1202	459.4	525.8	1	3500

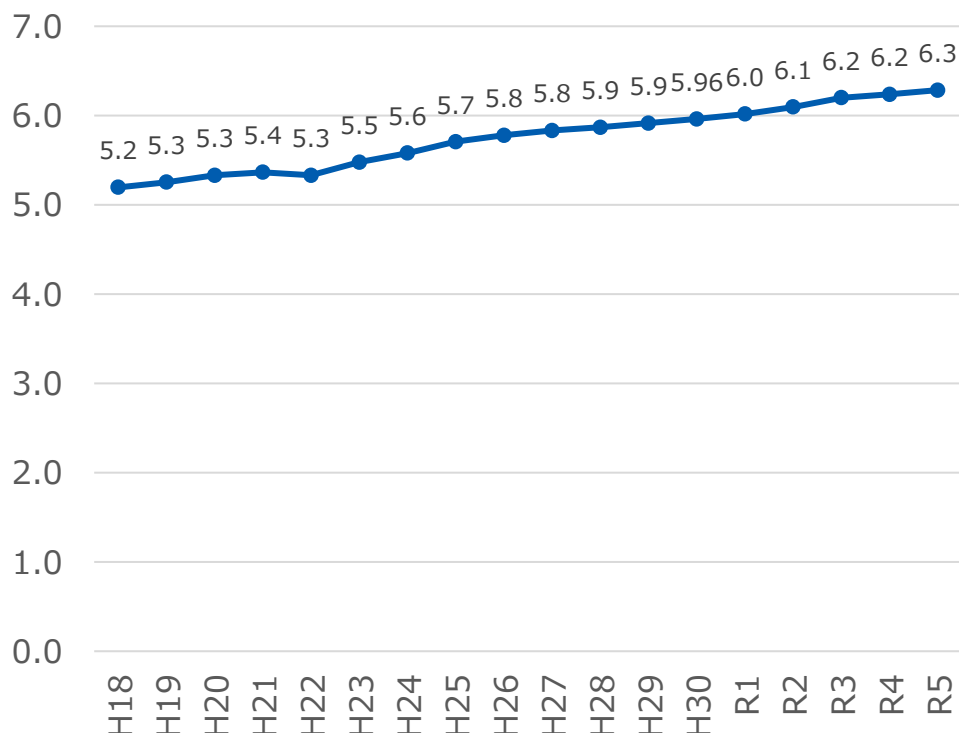
④薬局の立地



参考：薬局数の推移等

- 薬局数は増加している（令和5年度は約6.3万）。
- 20店舗以上を経営する薬局の割合は増加傾向にある。

薬局数の推移（万）

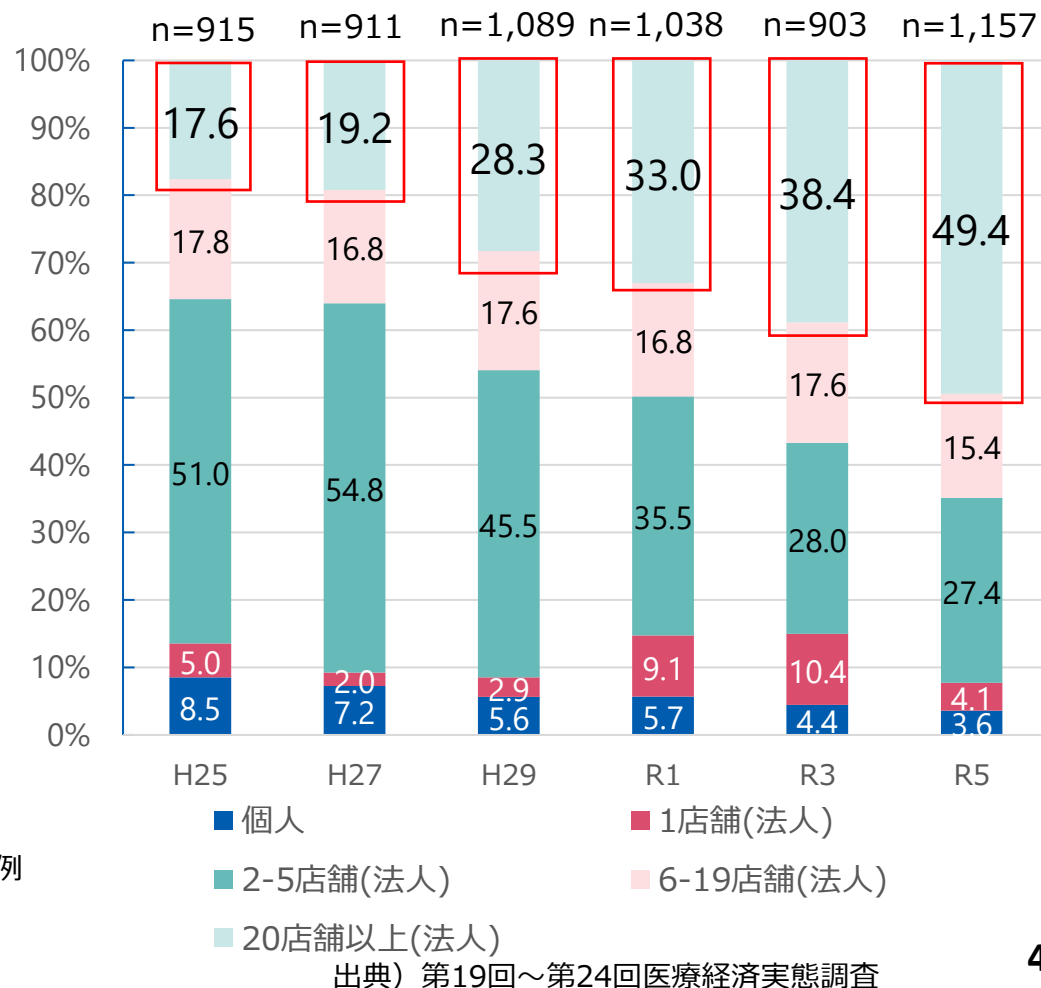


※平成22年度は、東日本大震災の影響により、宮城県及び福島県の一部は集計されていない。

出典）衛生行政報告例

参考：一般診療所104,894施設、病院8,122施設
（令和5年10月1日現在：令和5年医療施設調査）

同一法人の薬局の店舗数の推移

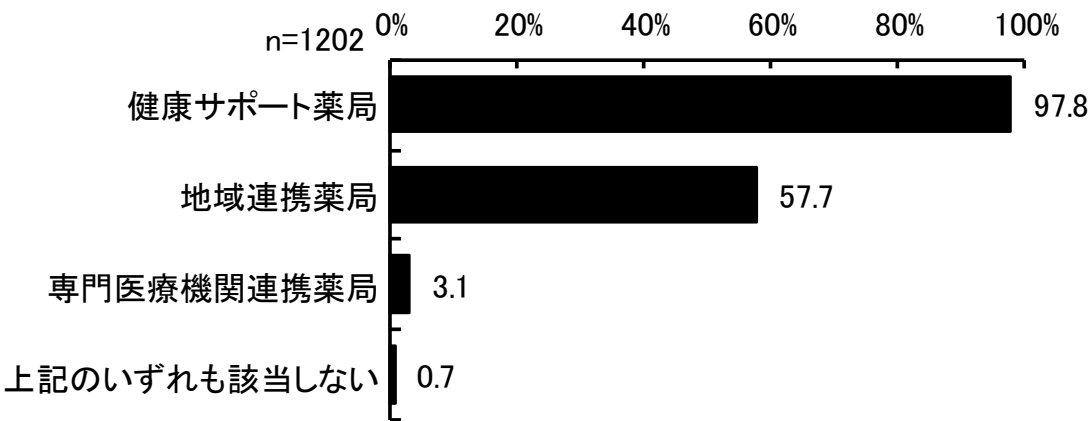


薬局の認定・届出状況

<健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）>

- 地域連携薬局の認定も受けていると回答した健康サポート薬局が57.7%あった。

⑤薬局の届出・認定状況



※ 健康サポート利用者を対象とした調査ではあるが、一部「健康サポート薬局」と回答しなかった薬局もあった。

⑥健康サポート薬局の届出をした時期

単位：軒

届出年	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	未回答	合計
軒数	68	144	159	170	170	152	115	98	100	26	1202

※ 令和6年度厚生労働省医薬局総務課委託事業「健康サポート薬局における健康サポート機能実態把握のための調査一式」報告書（令和7年3月）
（（株）エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所）より医薬局総務課において作成。

薬局の職員数

＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 薬局（単体）の職員数については、「薬剤師数（常勤）」が平均3.7人、「薬剤師数（非常勤）」が2.6人であった。

⑦薬局（単体）の職員数

単位: 人

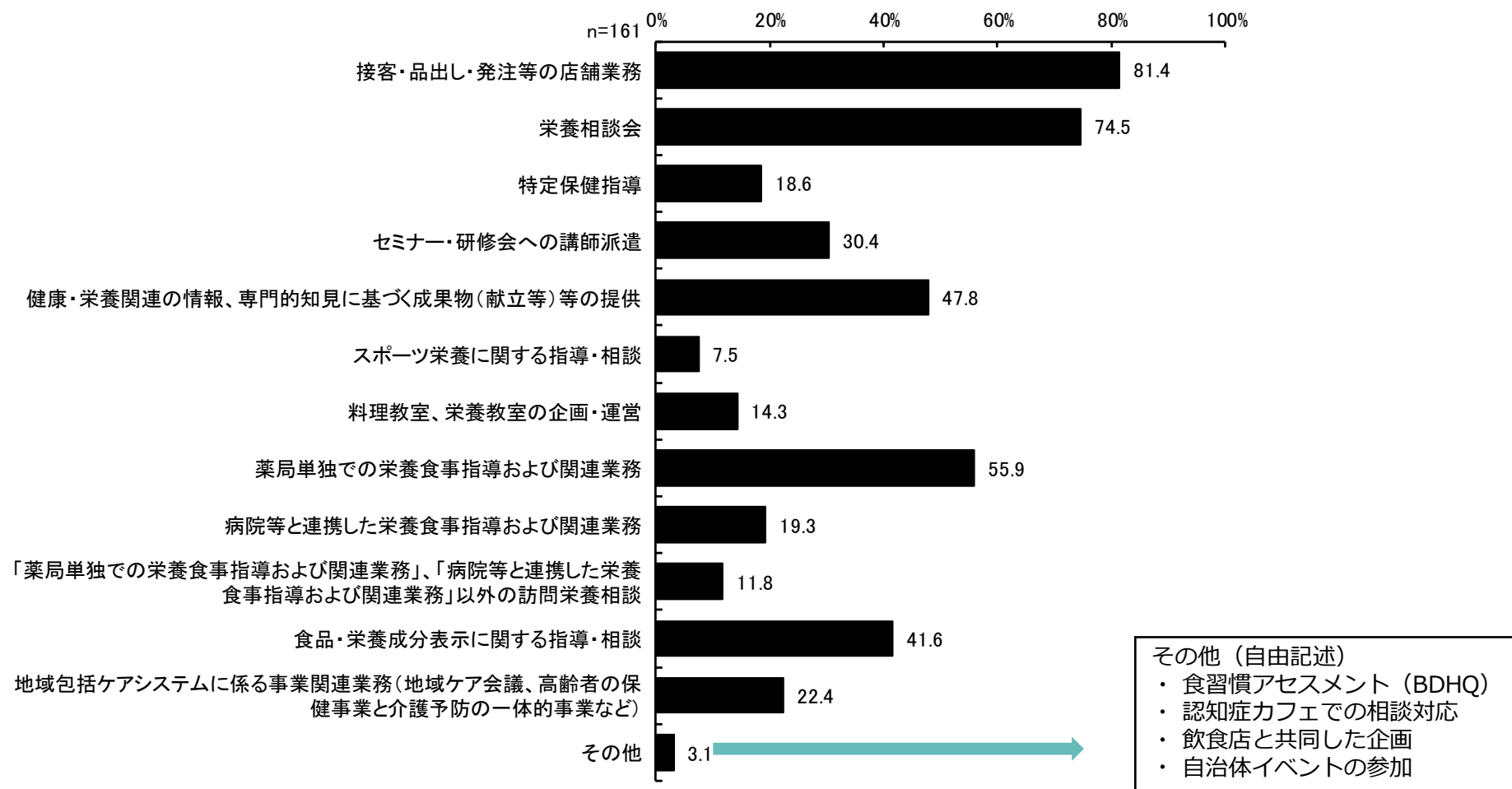
	調査数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
薬剤師数(常勤)	1202	3.7	2.4	1	29
健康サポート薬局研修修了薬剤師数(常勤)	1202	2.5	1.6	0	19
薬剤師数(非常勤実人数)	1202	2.6	3.9	0	34
健康サポート薬局研修修了薬剤師数(非常勤実人数)	1202	0.8	1.6	0	15
登録販売者数	1202	0.7	1.1	0	8
管理栄養士数	1202	0.2	0.5	0	6
栄養士数	1202	0.0	0.2	0	3
その他職員数	1202	2.7	2.7	0	28

（参考）店舗当たりの平均勤務薬剤師数 2.7人（令和3年度厚生労働省保険局医療課委託調査「薬局の機能に係る実態調査」）

薬局に所属する管理栄養士・栄養士が行っている業務 ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 薬局（単体）に所属する管理栄養士または栄養士が通常行っている業務については、「接客・品出し・発注等の店舗業務」が81.4%で最も割合が高く、次いで「栄養相談会」が74.5%であった。

⑧薬局（単体）に所属する管理栄養士または栄養士が通常行っている業務

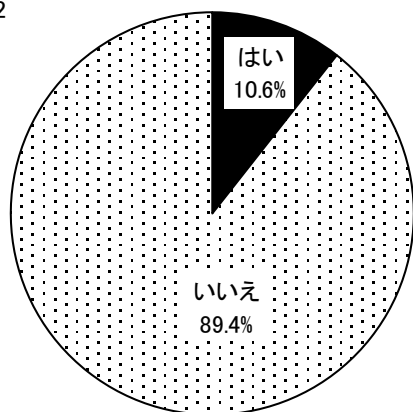


検体測定室の設置状況等 ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 薬局に検体測定室はあるかについては、「はい」が10.6%であった。
- 薬局での患者・利用者のプライバシー配慮については、「パーティションの設置」が97.2%で最も割合が高く、次いで「音を遮断できる個室の設置」が12.6%であった。

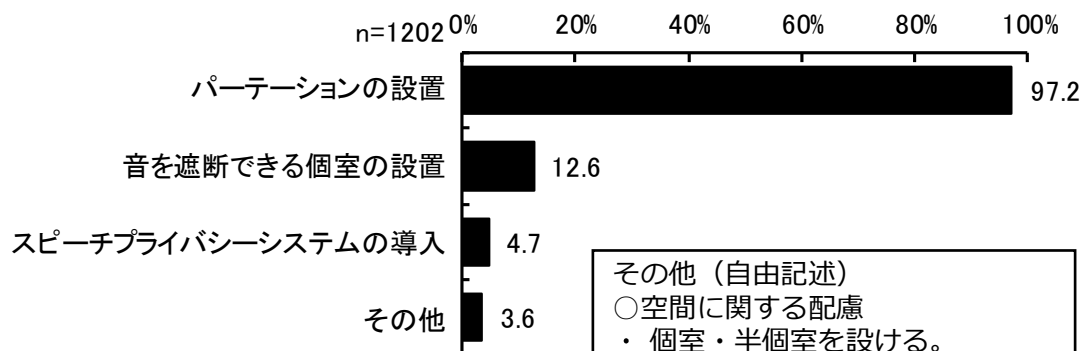
⑨薬局に検体測定室※はあるか

n=1,202



※ 検体測定室とは、簡易な検査を行う施設。簡易な検査とは、利用者が自ら採取した検体について、事業者が血糖値や中性脂肪などの検体検査を行うサービスであり、診療の用に供しない検査を行うものである。このような簡易な検査を行う施設については、衛生検査所としての登録は不要となる。

⑩薬局での患者・利用者のプライバシー配慮



その他（自由記述）

○空間に関する配慮

- ・ 個室・半個室を設ける。
- ・ 別フロアに相談室を設ける。

○設備に関する配慮

- ・ 広い投薬台を設置する。
- ・ アイランド方式の投薬スペースを設けている。

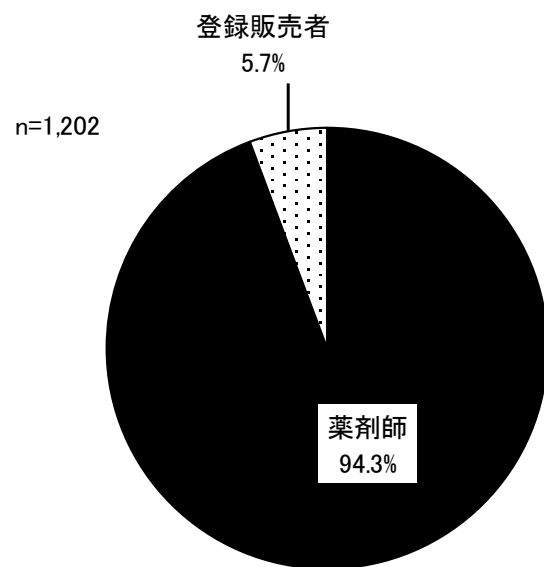
○空間に関する配慮

- ・ ドライブスルー方式としている。

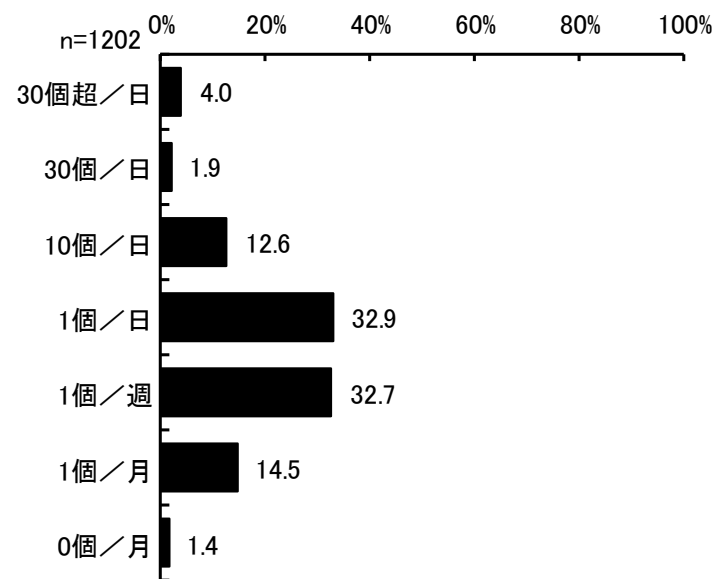
OTC医薬品の販売状況等 ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- OTC医薬品の販売・相談時における主な対応者については、「薬剤師」が94.3%、「登録販売者」が5.7%であった。
- 令和6年10月の1か月間におけるOTC医薬品の販売頻度については、「1個／日」が32.9%、次いで「1個／週」が32.7%であった。

⑪ OTC医薬品の販売・相談時における主な対応者



⑫ 令和6年10月の1か月間におけるOTC医薬品の販売頻度



OTC医薬品の販売状況等

＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 健康サポート薬局の届出要件として定められているOTC医薬品の48薬効群の売上状況について、令和5年4月～令和6年3月の1年間における販売個数の上位5薬効群1位は、「解熱鎮痛剤」が58.4%で最も割合が高く、次いで「かぜ薬（内用）」が9.9%であった。

⑬健康サポート薬局の届出要件であるOTC医薬品の48薬効群の売上状況
令和5年4月～令和6年3月の1年間における販売上位薬効群1位～5位までの割合

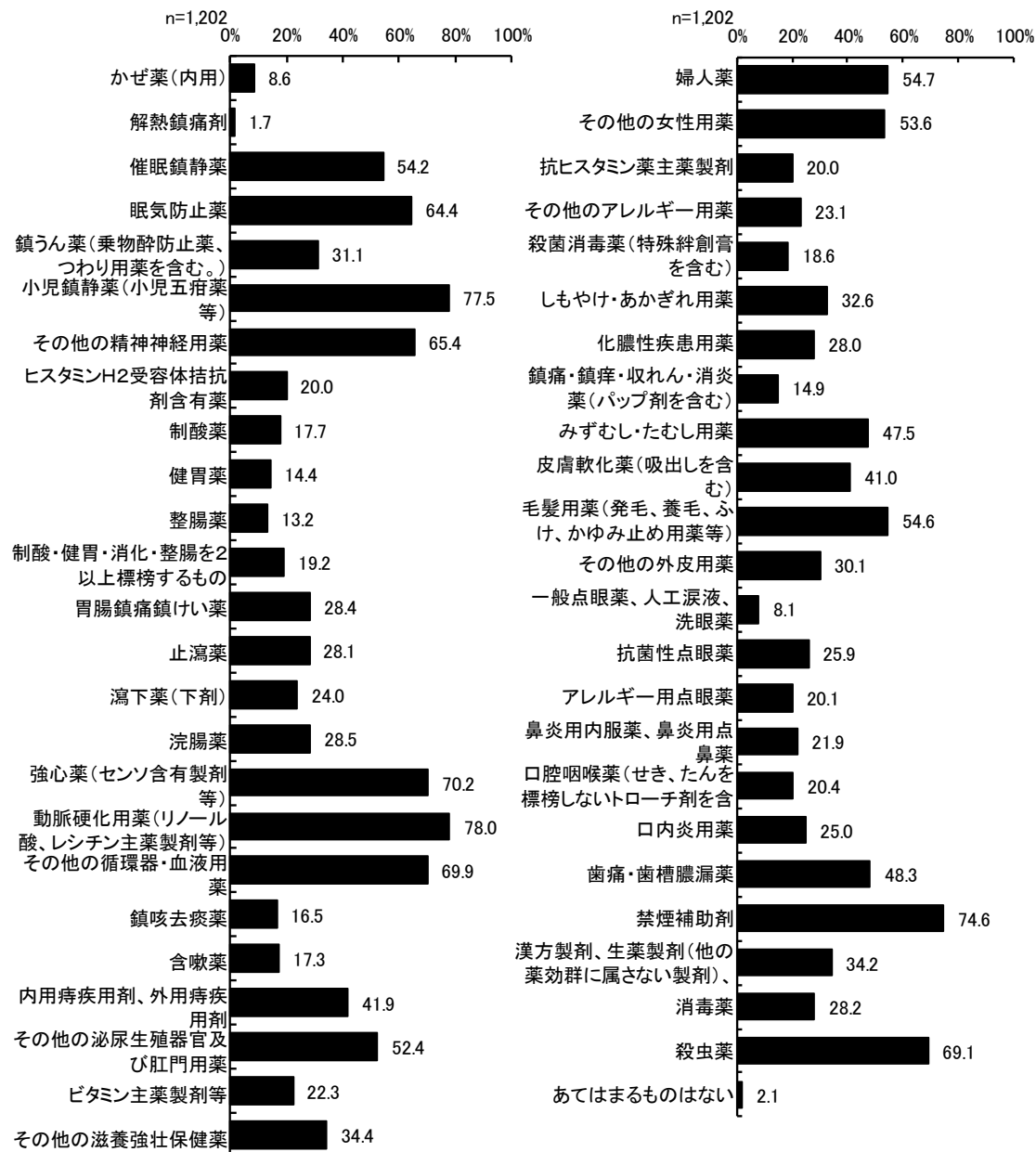
単位：％

	薬効群	上位1位 n=1,202	薬効群	上位2位 n=1,202	薬効群	上位3位 n=1,202	薬効群	上位4位 n=1,202	薬効群	上位5位 n=1,202
1位	解熱鎮痛剤	58.4	かぜ薬（内用）	20.9	一般点眼薬、人工涙液、洗眼薬	9.6	かぜ薬（内用）	8.5	あてはまるものはない	8.1
2位	かぜ薬（内用）	9.9	解熱鎮痛剤	17.2	かぜ薬（内用）	9.5	一般点眼薬、人工涙液、洗眼薬	7.9	一般点眼薬、人工涙液、洗眼薬	7.7
3位	一般点眼薬、人工涙液、洗眼薬	6.7	一般点眼薬、人工涙液、洗眼薬	10.1	健胃薬	7.2	整腸薬	6.8	かぜ薬（内用）	6.2
4位	その他の滋養強壮保健薬	5.2	鎮痛・鎮痒・収れん・消炎薬（パップ剤を含む）	5.7	鎮痛・鎮痒・収れん・消炎薬（パップ剤を含む）	7.0	鎮痛・鎮痒・収れん・消炎薬（パップ剤を含む）	6.3	整腸薬	5.1
5位	ビタミン主薬製剤等	5.1	健胃薬	4.7	整腸薬	6.2	健胃薬	6.2	健胃薬	4.7

OTC医薬品の販売状況等 ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 同1年間に販売実績がなかった薬効群については、「動脈硬化用薬（リノール酸、レシチン主薬製剤等）」が78.0%で最も割合が高く、次いで「小児鎮静薬（小児五疳薬等）」が77.5%であった。

⑭ 同1年間に販売実績がなかった薬効群（複数回答）



※ 令和6年度厚生労働省医薬局総務課委託事業「健康サポート薬局における健康サポート機能実態把握のための調査一式」報告書（令和7年3月）（（株）エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所）より医薬局総務課において作成。

受診勧奨等の状況

<健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）>

- 令和5年4月～令和6年3月までの1年間における受診勧奨の件数と連携機関の紹介件数等については、「受診勧奨件数」が平均12.9件、「連携機関紹介件数」が4.0件、「連携機関への紹介文書提供件数」が2.1件であった。
- 検体測定室が有る薬局の「連携機関紹介件数」は平均6.5件で、無い薬局は平均3.7件であった。

⑮ 令和5年4月～令和6年3月までの1年間における受診勧奨の件数と連携機関の紹介件数等

単位: 件

	調査数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
受診勧奨件数	1201	12.9	33.7	0	500
連携機関紹介件数	1202	4.0	13.9	0	300
連携機関への紹介文書提供件数	1202	2.1	24.8	0	744

（検体測定室の有無別）連携機関の紹介件数

単位: 件

		n数	連携機関紹介件数			
			平均値	標準偏差	最小値	最大値
全 体		1202	4.0	13.9	0	300
検体測定室の有無	はい	128	6.5	16.6	0	120
	いいえ	1074	3.7	13.5	0	300

（健康サポートの延べ提供人数別）
受診勧奨の件数と連携機関の紹介件数

単位: 件

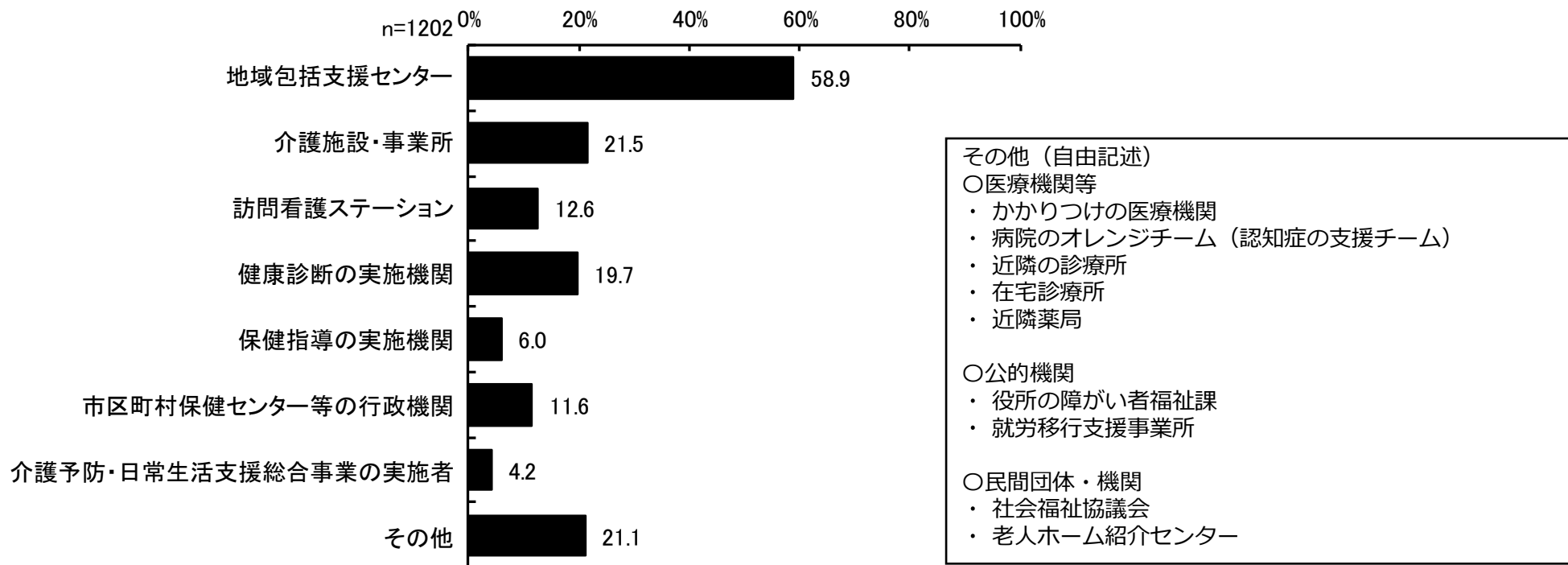
		受診勧奨件数		連携機関紹介件数	
		n数	平均値	n数	平均値
全 体		1201	12.9	1202	4.0
健康サポートの 延べ提供人数	0人	17	2.5	17	0.1
	1～9人	263	7.0	264	2.3
	10～99人	695	12.3	695	3.4
	100～999人	206	21.5	206	7.1
	1000～9999人	19	34.4	19	21.0
	10000人以上	1	12.0	1	3.0

※ 令和6年度厚生労働省医薬局総務課委託事業「健康サポート薬局における健康サポート機能実態把握のための調査一式」報告書（令和7年3月）
（（株）エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所）より医薬局総務課において作成。

地域の関係機関との連携状況 ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 令和5年4月～令和6年3月の1年間において一度でも紹介したことがある連携先については、「地域包括支援センター」が58.9%で最も割合が高く、次いで「介護施設・事業所」が21.5%であった。

⑯ 令和5年4月～令和6年3月の1年間において一度でも紹介したことがある連携先
（複数回答）

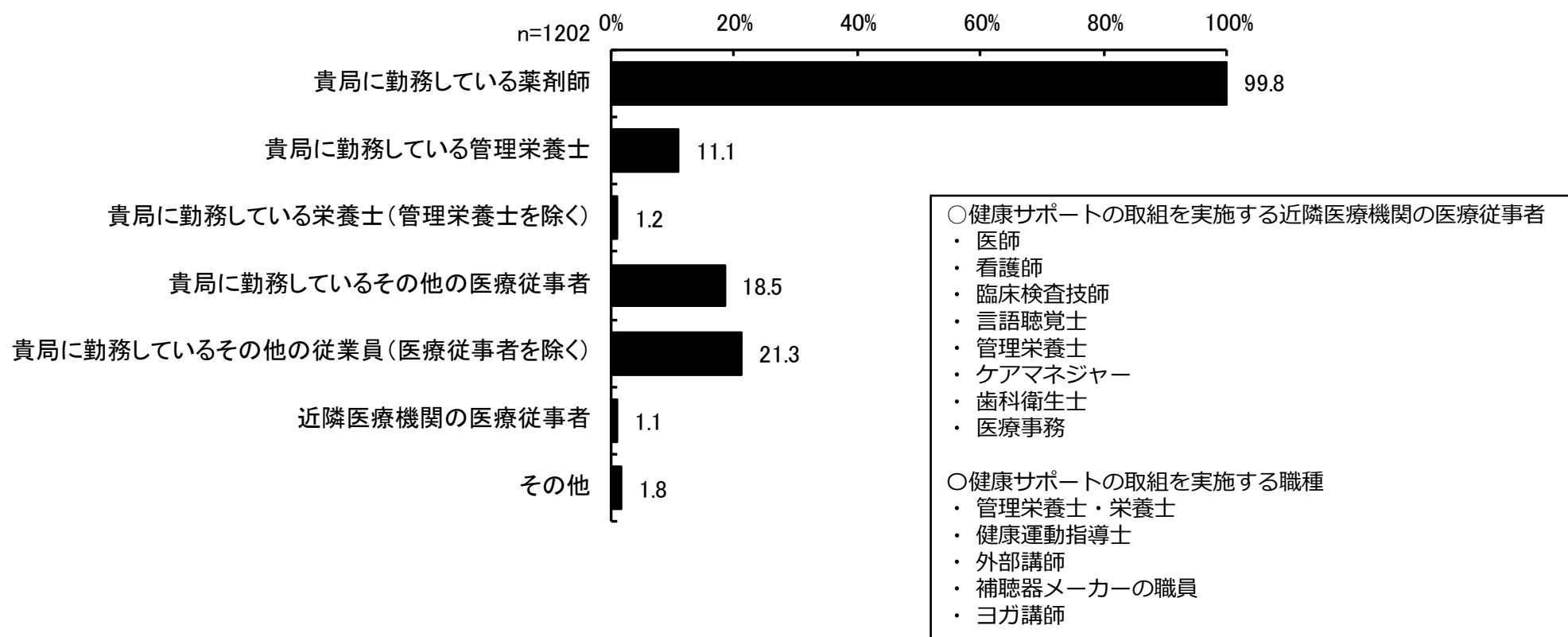


健康サポートの取組を実施する職種 ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 健康サポートの取組を実施する職種については、「貴局に勤務している薬剤師」が99.8%で最も割合が高く、次いで「貴局に勤務しているその他の従業員（医療従事者を除く）」が21.3%であった。

健康サポートの取組の全般的状況等

① 健康サポートの取組を実施する職種（複数回答）



健康サポート薬局になろうとした目的 ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

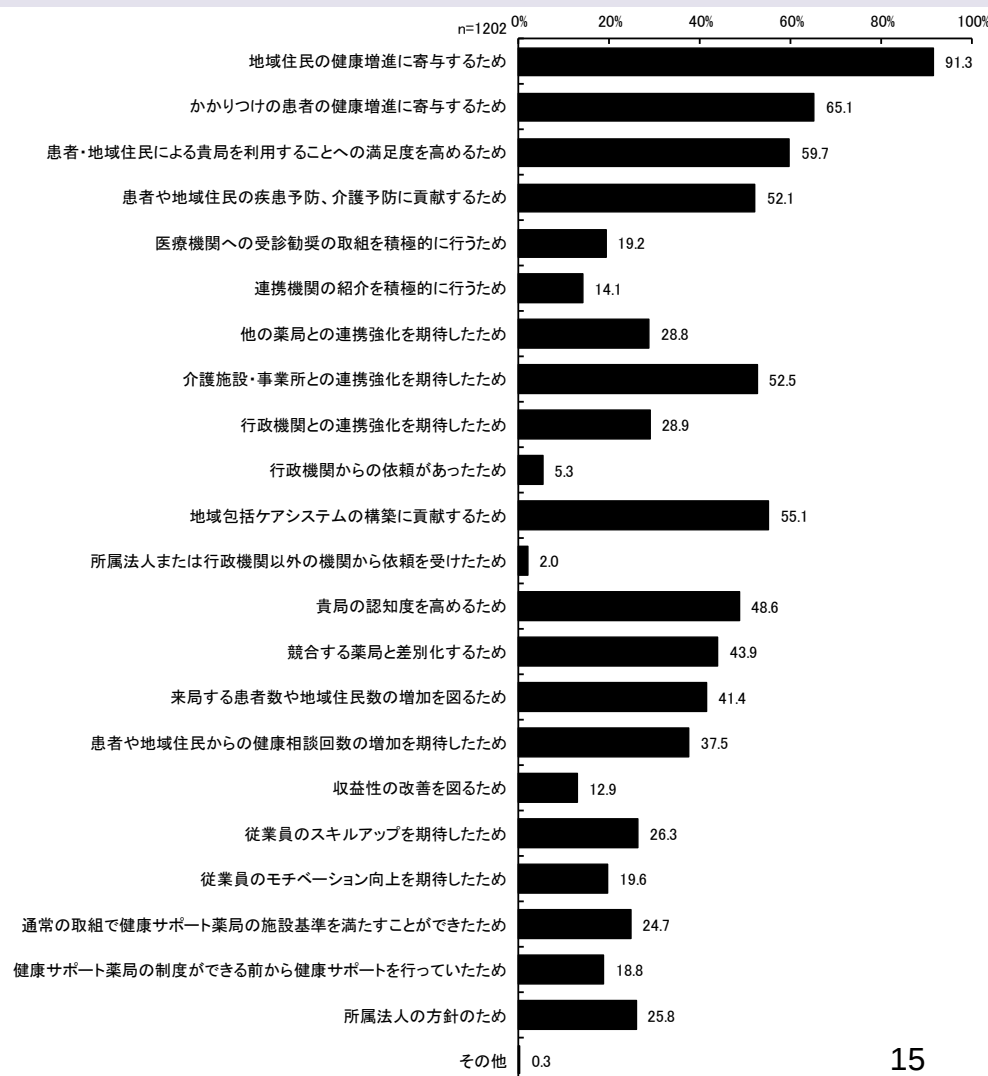
- 健康サポート薬局になろうとした目的については、「地域住民の健康増進に寄与するため」が91.3%で最も割合が高く、次いで「かかりつけの患者の健康増進に寄与するため」が65.1%であった。

② 健康サポート薬局になろうとした目的（複数回答）

- 「所属法人または行政機関以外の機関から依頼を受けた」依頼元
- 近隣の健康サポート薬局から誘われた。

○健康サポート薬局になろうとした目的 その他

- 選ばれる薬局になるため。
- 高齢化社会に役立つため。
- 今後、診療報酬上の施設基準に入る可能性を考えたため。



※ 令和6年度厚生労働省医薬局総務課委託事業「健康サポート薬局における健康サポート機能実態把握のための調査一式」報告書（令和7年3月）（（株）エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所）より医薬局総務課において作成。

健康サポートの取組の実施状況

<健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）>

- 令和5年4月～令和6年3月の1年間における健康サポートの種類別の取組回数については、「悩み解消」と「測定」がともに平均22.8回であった。

③ 令和5年4月～令和6年3月の1年間における健康サポートの種類別の取組回数

単位：回

		調査数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
取組回数	情報提供	1202	6.5	20.5	0	500
	悩み解消	1202	22.8	116.2	0	3000
	測定	1202	22.8	113.1	0	2000
	運動提供	1202	0.9	7.2	0	192
	その他	1202	1.0	13.1	0	350

その他の種類（自由記述）

○疾患・医薬品に関するイベント・相談

- ・ がん相談カフェ（がんカフェ）
- ・ 認知症カフェ（オレンジカフェ）
- ・ 医療機関での医薬品の研修会

○健康・食事に関するイベント・相談

- ・ 栄養相談会・栄養指導
- ・ 他店舗と共同開催の健康イベント
- ・ 禁煙指導
- ・ 地域（行政）と連携した健康祭
- ・ 脳トレに関する資材配布
- ・ サプリメントに関する講演会
- ・ 耳の相談会
- ・ 美容に関する相談会

○介護に関する相談

- ・ 介護相談

○その他

- ・ 薬剤師職能周知の体験会
- ・ 特定健診への受診勧奨
- ・ 子供薬剤師体験会

健康サポートの取組を増加させるための工夫 ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 健康サポートの取組の利用者を増加させるため行った工夫については、「来局者に健康サポート薬局であることをPRした」が61.8%で最も割合が高く、次いで「要指導医薬品・一般用医薬品の取扱品目数を増やした」が56.5%であった。
- 工夫した結果、利用者が増加した効果があったと考える工夫については、n数が少ない「その他」を除くと、「健康サポートに関する相談会等の開催回数を増やした」が最も割合が高く60.6%、ついで「地域のイベントなどで健康サポート薬局であることをPRした」が51.3%、「要指導医薬品・一般用医薬品の取扱品目数を増やした」が47.4%であった。

④ 健康サポートの取組の利用者を増加させるための工夫

- 健康サポートの取組の利用者を増加させるための工夫の有無については、「はい」が60.5%

単位：％

取組内容	n数		効果があったと考えるもの	
	727		n数	
その他	28	3.9	19	67.9
健康サポートに関する相談会等の開催回数を増やした	284	39.1	172	60.6
地域行政、地域薬剤師会、地域住民（自治会等）などと意見交換をしている	174	23.9	91	52.3
地域のイベントなどで健康サポート薬局であることをPRした	279	38.4	143	51.3
要指導医薬品・一般用医薬品の取扱品目数を増やした	411	56.5	195	47.4
薬局紹介のパンフレットを作成し配布した	135	18.6	60	44.4
来局者に健康サポート薬局であることをPRした	449	61.8	192	42.8
特別用途食品の取扱品目数を増やした	88	12.1	36	40.9
薬局紹介のポスターを作成し掲示した	172	23.7	69	40.1
設備投資を行った	107	14.7	39	36.4
メディアに広告を出し健康サポート薬局であることをPRした	59	8.1	21	35.6
薬局のホームページを拡充した	93	12.8	33	35.5
担当する従業員数を増やした	68	9.4	24	35.3
介護用品の取扱品目数を増やした	118	16.2	41	34.7
従業員の研修機会を行った	224	30.8	74	33.0
あてはまるものはない	—	—		

健康サポート薬局になったことによる効果
＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 健康サポート薬局になったことによる効果として薬局が感じていることについては、「地域住民の健康増進に寄与できた」が59.2%で最も割合が高く、次いで「かかりつけの患者の健康増進に寄与できた」が50.8%であった。

⑤ 健康サポート薬局になったことによる効果として薬局が感じていること（複数回答）1年間に健康サポートを提供した利用者数別

		n数	健康サポートによる効果																					
			地域住民の健康増進に寄与できた	かかりつけの患者の健康増進に寄与できた	患者・地域住民による貴局を利用することへの満足度が向上した	患者や地域住民の疾患予防、介護予防に貢献できた	医療機関への受診勧奨の件数が増えた	連携機関の紹介件数が増えた	他の薬局との連携が増加した	介護施設・事業所との連携が増加した	行政機関との連携が増加した	地域包括ケアシステムの構築に貢献できた	地域医療に貢献できた	貴局の認知度が高まった	競合する薬局との差別化につながった	来局する患者数や地域住民数が増加した	患者や地域住民からの健康相談回数が増加した	収益性が改善した	従業員のスキルアップにつながった	従業員のモチベーションが向上した	OTC医薬品の販売個数が増加した	多剤・重複投与や相互作用の防止につながった	その他	特に無い
全 体		###	59.2	50.8	31.4	30.4	12.4	7.5	6.5	15.6	9.7	23.7	33.2	12.3	12.6	6.9	16.0	2.7	20.2	11.3	18.2	7.8	1.1	11.2
健康サポートの 延べ提供人数	0人	17	23.5	17.6	23.5	5.9	-	-	5.9	5.9	-	5.9	-	-	-	-	-	-	5.9	5.9	-	5.9	-	47.1
	1～9人	264	42.0	41.3	16.3	14.0	6.8	2.3	4.2	9.8	3.8	12.9	17.8	4.2	3.8	2.3	6.4	1.9	14.0	6.1	12.5	4.5	0.4	22.0
	10～99人	695	62.3	53.7	30.8	30.8	11.2	6.5	5.0	15.4	7.8	22.7	32.7	12.4	12.4	6.6	15.0	2.2	19.6	10.8	18.8	6.9	1.0	8.1
	100～999人	206	71.4	53.9	50.5	49.0	22.3	16.0	13.1	22.8	22.8	39.8	55.3	21.8	21.8	11.2	29.6	4.9	29.6	18.9	23.3	12.6	1.5	5.3
	1000～9999人	19	78.9	73.7	57.9	63.2	36.8	31.6	21.1	26.3	26.3	47.4	52.6	26.3	47.4	42.1	47.4	10.5	36.8	26.3	31.6	31.6	10.5	10.5
	10000人以上	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0	-	100.0	100.0	-

その他の効果（自由記述）

- 警察との連携による女性の支援に役立っている。
- 処方箋なしでも来局される利用者が増えた。
- 関係各所に顔を覚えてもらえるようになった。
- 患者さんの治療に対するモチベーションが上がった。

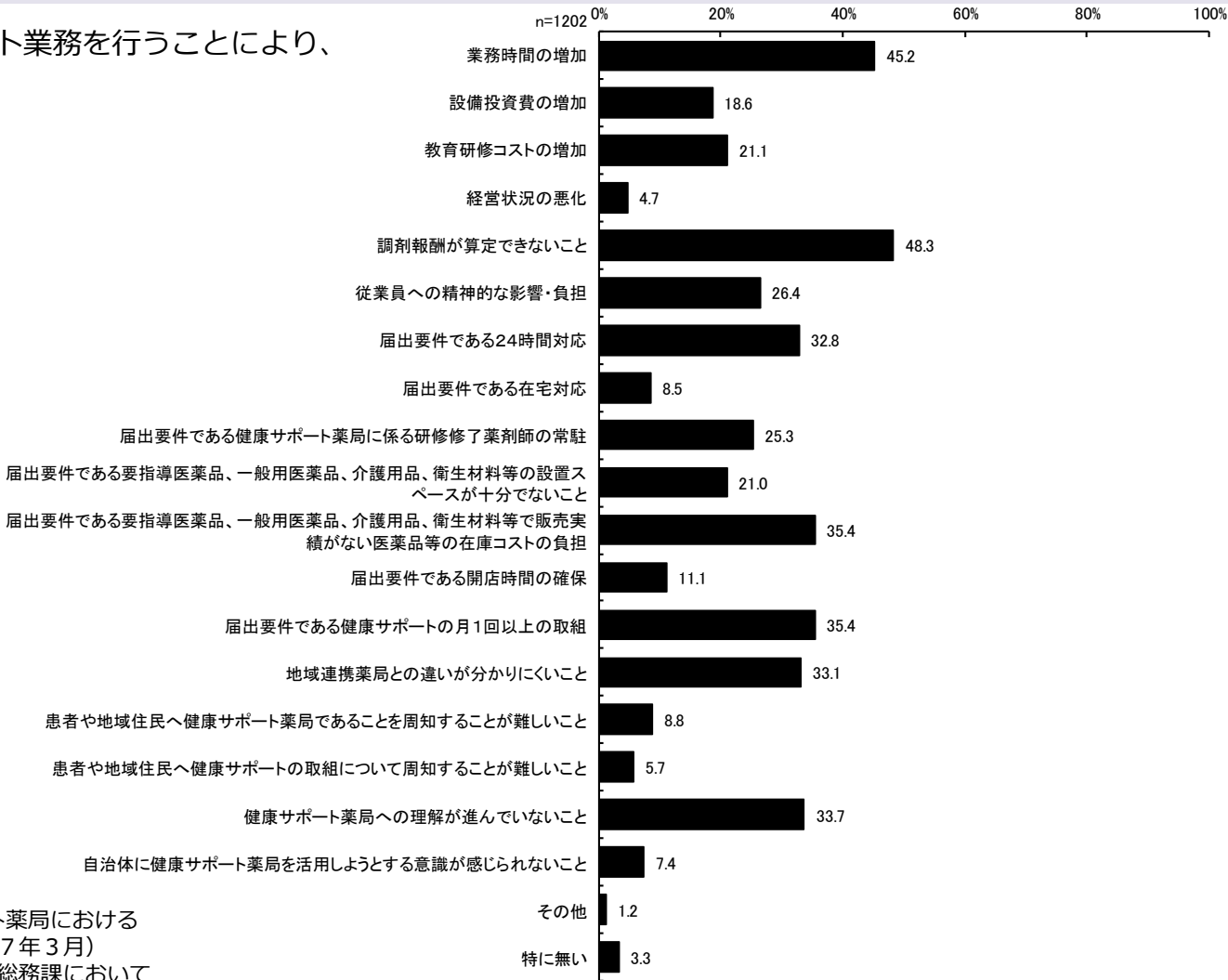
※ 令和6年度厚生労働省医薬局総務課委託事業「健康サポート薬局における健康サポート機能実態把握のための調査一式」報告書（令和7年3月）（（株）エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所）より医薬局総務課において作成。

健康サポート薬局に関する課題

<健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）>

- 健康サポート薬局となること及び健康サポート業務を行うことにより、課題を感じていることについては、「調剤報酬が算定できないこと」が48.3%で最も割合が高く、次いで「業務時間の増加」（45.2%）、「届出要件である要指導医薬品、一般用医薬品、介護用品、衛生材料等で販売実績がない医薬品等の在庫コストの負担」（35.4%）であった。

⑥ 健康サポート薬局となること及び健康サポート業務を行うことにより、課題を感じていること（複数回答）



その他の課題（自由記述）

- 未病のうちに地域の薬局を活用しようという本気度が国に足りないこと。
- 外来患者で待合室が混雑している中、相談で投薬台と薬剤師を取られること。
- 相談に応じるスペースが不十分であること。
- 夜間営業の安全性を確保すること。
- 期限切れで廃棄するOTCが一定量あること。
- 薬剤師が介護について分かっていないこと。

※ 令和6年度厚生労働省医薬局総務課委託事業「健康サポート薬局における健康サポート機能実態把握のための調査一式」報告書（令和7年3月）（（株）エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所）より医薬局総務課において作成。

健康サポート薬局に関する課題 ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

●健康サポート薬局であることを周知することが難しい理由

○認知度の問題

- ・健康サポート薬局が認知されていないため。

○機能や役割が不明確

- ・健康サポート薬局の機能を説明しづらいため。
- ・住民がメリットを感じていないため。

○国や行政の役割

- ・国が国民や地域住民へ周知させていないため。

○利用者の理解不足

- ・薬局は薬をもらう場所というイメージが強いため。
- ・健康サポート薬局とそれ以外の薬局の区別がつかないため。
- ・国民（地域住民）の関心が低いため。

○コスト上の制約

- ・広告費を捻出することが難しいため。
- ・イベントを開催する時間がないため。

○その他

- ・健康サポート薬局をPRする機会がないため。
- ・健康サポートという名称が分かりにくい。

●健康サポート薬局であることを周知することが難しいという課題への対応策

○メディアを使った広報活動

- ・メディアやSNS等を活用したPR活動が必要である。
- ・公共交通機関における広告が必要である。

○メリットの明確化

- ・具体的なメリットを提示すること。

○行政等による広報活動の支援

- ・国や行政による広報活動の支援が必要である。
- ・職能団体による広報活動の支援が必要である。
- ・市の健康イベントと連携すること。

○制度による支援

- ・補助金や調剤報酬の上乗せが必要である。
- ・地域連携薬局との統一が必要である。

○その他

- ・デジタルサイネージの活用が有効である。
- ・従業員全体で意識を持った取組が必要である。
- ・大手ドラッグストア並みに店舗の面積を拡張する必要がある。

健康サポート薬局に関する課題 ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

●自治体に健康サポート薬局を活用しようとする意識が 感じられない理由

- 制度の認知・理解不足
 - ・認知度が低いため。
 - ・健康サポート薬局の制度や意義の理解が不足しているため。
- 自治体の活動不足
 - ・自治体からの周知活動が不足しているため。
 - ・自治体から積極的な連携がないため。
 - ・自治体職員ですら健康サポート薬局の存在を知らないため。
- その他
 - ・薬剤師の意識が低いため。

●自治体に健康サポート薬局を活用しようとする意識が感じら れないという課題への対応策

- 国・行政等の周知活動
 - ・国からの周知活動が必要である。
 - ・職能団体主導の周知活動が必要である。
- 広報・情報発信
 - ・メディアに取り上げてもらう必要がある。
 - ・薬局からの積極的な発信が必要である。
- 行政・自治体との連携
 - ・自治体との共同の健康フェア等の開催が必要である。
 - ・新聞に健康サポート薬局のリストを掲載する必要がある。
- 制度・報酬の問題
 - ・加算や報酬の上乗せが必要である。
- 教育支援
 - ・自治体職員に向けた周知活動が必要である。
 - ・薬局の従業員への教育が必要である。
- モデル地域の検討その他
 - ・モデル地域における機能のマッチングが必要である。

健康サポートの取組の内容

＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

健康サポートの個別の取組の提供状況等

①令和5年4月から令和6年3月までの1年間に実施した健康サポートの取組の概要
（自由記述）（一部抜粋）

○健康全般

- ・健康相談
- ・地域における健康講座
- ・ヘルスリテラシー向上を目的としたチラシの配布
- ・健康通信の作成・配布
- ・検査値の読み方指導
- ・健診結果の相談会

○受診勧奨

- ・医療機関の案内や紹介
- ・睡眠状態の測定を基に受診勧奨
- ・肺炎の受診勧奨
- ・婦人科領域の受診勧奨
- ・検体測定室を活用した受診勧奨

○医療介護等関係機関の案内

- ・医療介護等関係機関の案内
- ・地域包括支援センターの紹介
- ・介護事業所の紹介
- ・症状から最適なクリニックを検索・案内

○医薬品関連（OTC含む）

- ・セルフメディケーション支援
- ・服薬に関する相談会
- ・残薬の相談
- ・近隣のクリニックと連携したお薬相談会
- ・ポリファーマシーに関する相談
- ・医薬品適正使用に関する講座
- ・お薬手帳の利用促進

○慢性疾患（糖尿病、脂質異常症等）の予防

- ・生活習慣指導
- ・フットケアに関する情報提供
- ・糖尿病予防に関する相談
- ・心不全予防に関する相談
- ・動脈硬化予防に関する相談

○口腔ケア

- ・口腔ケア教室
- ・歯周病セルフチェックの結果を受けた相談対応

○介護予防

- ・フレイルチェックの結果を受けた相談
- ・認知症カフェ（オレンジカフェ）
- ・骨折・骨粗しょう症予防の相談
- ・介護相談会
- ・認知症サポーター養成講座
- ・ロコモティブシンドロームに関する健康講座

○ダイエット

- ・ダイエット

○運動

- ・体力テスト
- ・ヨガ講座
- ・健康体操教室
- ・膝痛時のウォーキング方法の指導
- ・腰痛体操教室

○食事・栄養

- ・食事・栄養指導
- ・健康食品の指導
- ・塩分摂取量の指導
- ・管理栄養士による栄養相談
- ・地域住民向けの栄養相談会

○禁煙

- ・禁煙相談・サポート

○睡眠

- ・カフェイン摂取量の確認
- ・正しい睡眠方法の指導

○レクリエーション

- ・レクリエーション

○コミュニケーション

- ・地域住民と顔の見える関係構築

○その他

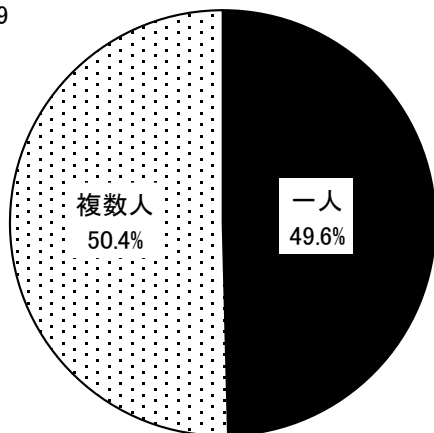
- ・AED講習会/・熱中症対策/・感染症対策
- ・臨床検査値の見方/・便秘対策
- ・パーキンソン病患者の交流会
- ・乳がん検診の啓蒙活動
- ・スキンケアに係る相談
- ・乳幼児向けの健康セミナー
- ・薬物乱用防止教室
- ・アレルギー疾患の対処講座
- ・季節に合わせた生活方法の指導

健康サポートの取組の対象者等 ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

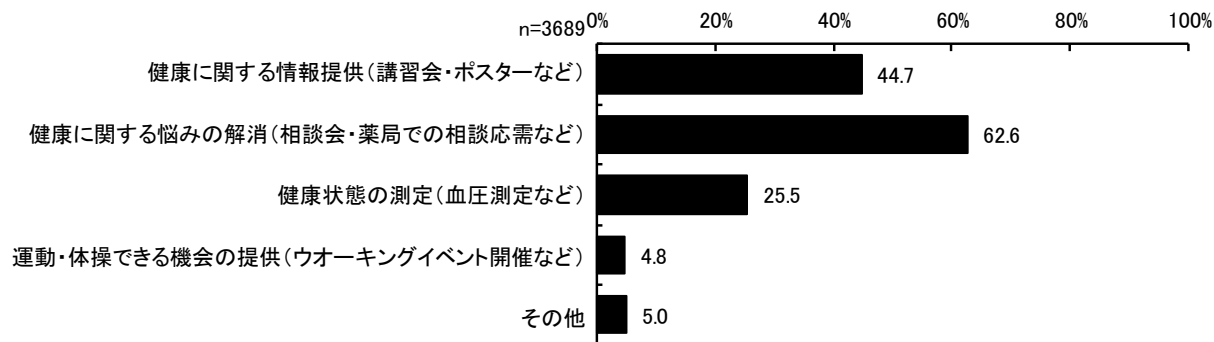
- 一度に対象とする利用者数については、「複数人」が50.4%であった。
- 取組の種類については、「健康に関する悩みの解消（相談会・薬局での相談応需など）」が62.6%で最も割合が多かった。

② 一度に対象とする利用者数

n=3,689



③ 取組の種類



その他（自由記述）

○健康・服薬に関する相談

- ・ 薬の服用方法の相談・説明
- ・ 個別の健康相談
- ・ 禁煙に関する相談
- ・ 介護相談
- ・ 食事に関する相談
- ・ 普段処方されている診療科とは異なる診療科からの処方薬に関する悩み相談
- ・ DV・月経など婦人科領域の相談
- ・ めまい相談

○講習会・レクチャー

- ・ 運動器の使い方に係るレクチャー
- ・ 薬物乱用防止教室
- ・ 体操教室

○イベント関連

- ・ 健康増進イベント
- ・ 乳がん検診促進イベント
- ・ 疾患啓発イベント
- ・ キッズファーマシー（調剤体験会）の開催

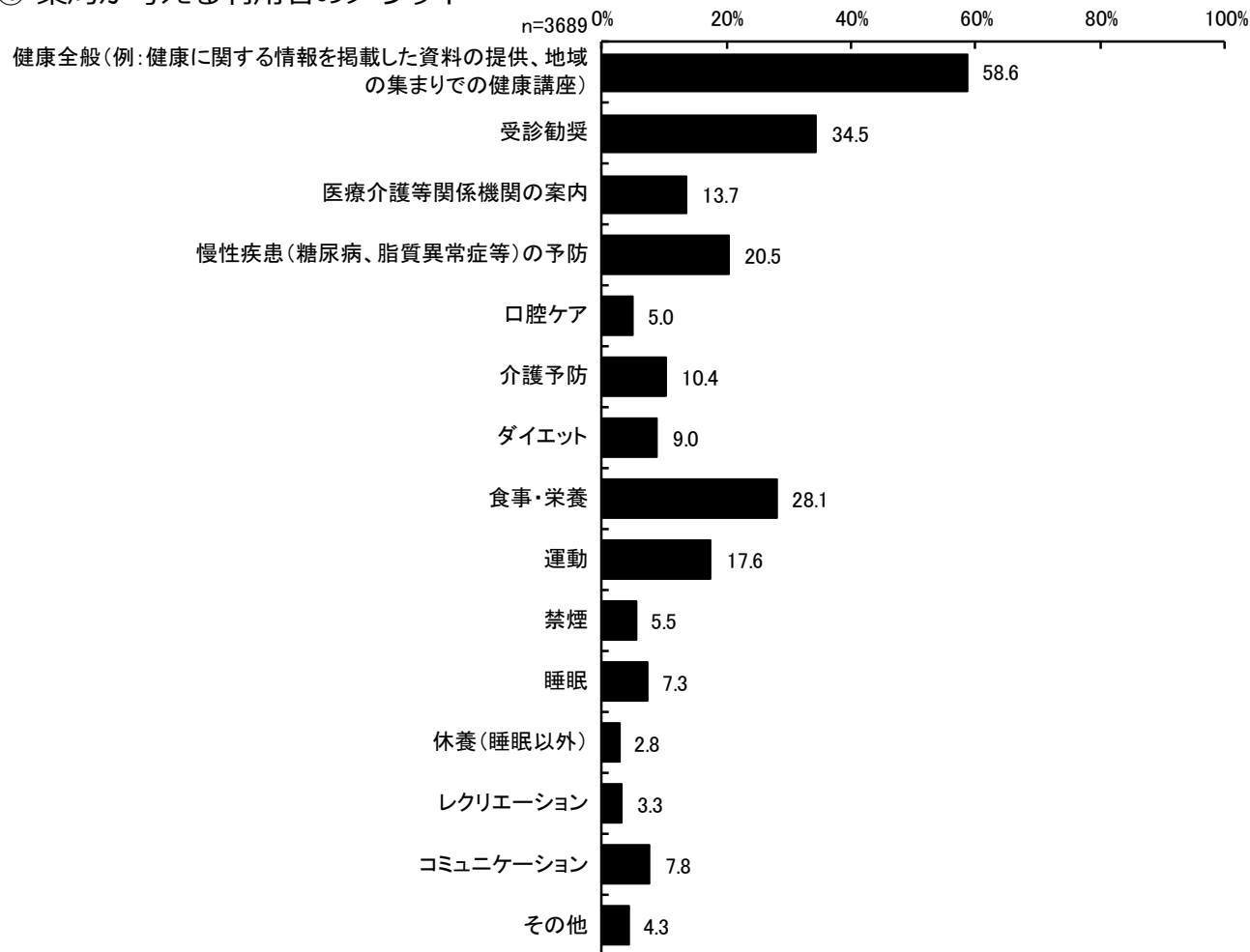
○疾患・介護予防

- ・ 脳トレ
- ・ よかとれ（フレイル予防体操）
- ・ 認知症の相談
- ・ 歯科医師・歯科衛生士による会場である薬局への訪問指導

健康サポートの取組に係る利用者のメリット ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 薬局が考える利用者にとってのメリットについては、「健康全般（例：健康に関する情報を掲載した資料の提供、地域の集まりでの健康講座）」が58.6%で最も割合が高く、次いで「受診勧奨」が34.5%であった。

④ 薬局が考える利用者のメリット



その他（自由記述）

○医薬品関連

- ・ 医薬品の正しい使用法の理解を深めるため。
- ・ 服薬に関する知識習得を深めるため。
- ・ 減薬のため。
- ・ 薬剤管理方法の理解を促進するため。
- ・ 飲み忘れを改善するため。
- ・ オーバードーズに関する知識を習得するため。
- ・ 残薬を確認するため。
- ・ ポリファーマシーを解消するため。
- ・ 薬害の理解を深めるため。

○疾患関連

- ・ 呼吸器症状を軽減させるため。
- ・ 認知症に関する知識を習得するため。
- ・ 老人性のがさつきを改善するため。

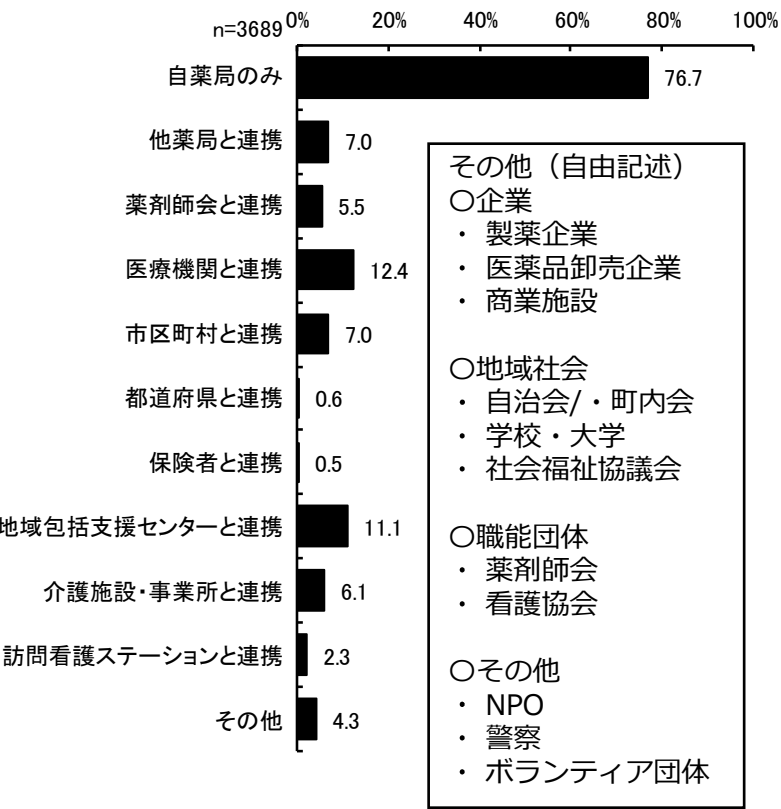
○健康・予防関連

- ・ 健康寿命を延ばすため。
- ・ 認知症予防のため。
- ・ 骨粗しょう症を予防するため。
- ・ フレイルを予防するため。
- ・ 感染症を予防するため。
- ・ 健康増進を行うため。
- ・ 訪問介護につなげるため。

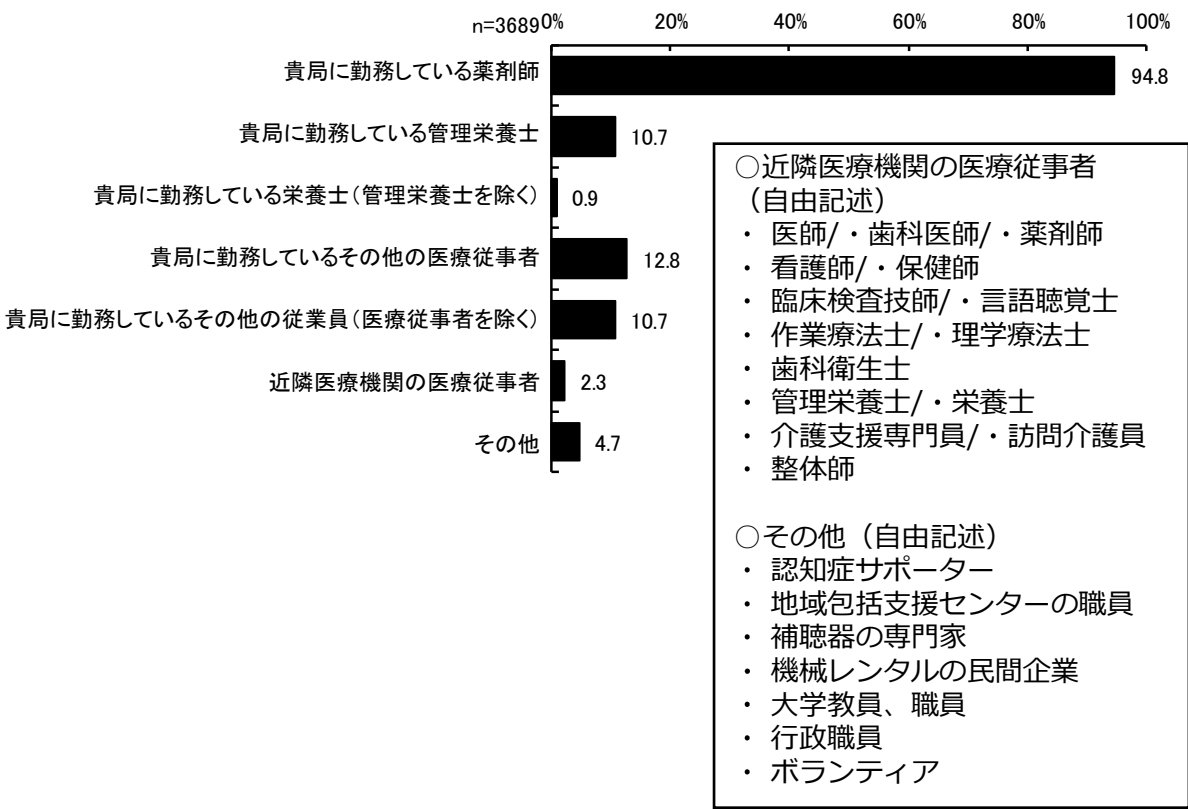
健康サポートの取組を実施する上での連携先等 健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）

- 実施する上での連携先の状況については、「自薬局のみ」が76.7%で最も割合が高く、次いで「医療機関と連携」が12.4%であった。
- 実施職種については、貴局に勤務している薬剤師が94.8%で最も割合が高く、次いで「貴局に勤務しているその他の医療従事者」が12.8%であった。

⑤ 実施する上での連携先の状況（複数回答）



⑥ 実施職種（複数回答）

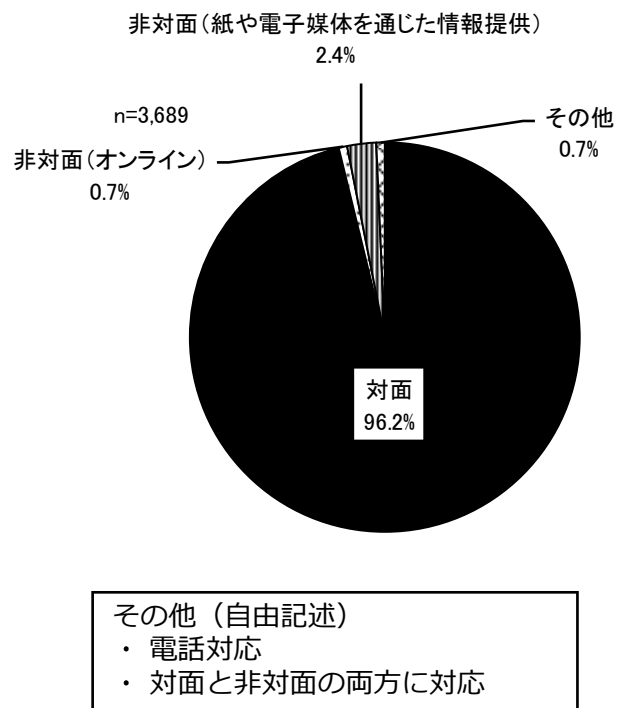


※ 令和6年度厚生労働省医薬局総務課委託事業「健康サポート薬局における健康サポート機能実態把握のための調査一式」報告書（令和7年3月）（（株）エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所）より医薬局総務課において作成。

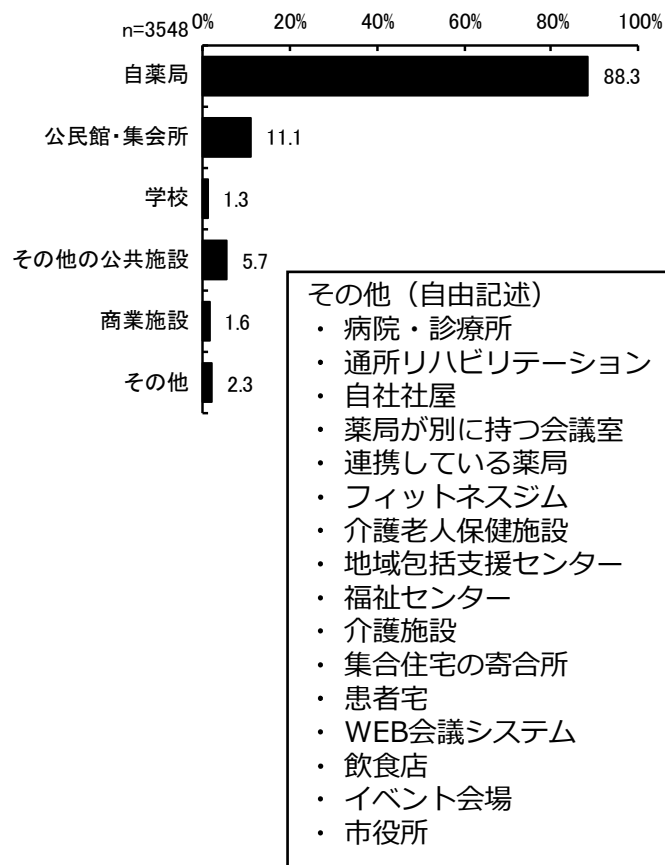
健康サポートの取組の実施方法・場所・頻度 ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 健康サポートの方法については、「対面」が96.2%であった。
- 対面での実施場所については、「自薬局」が88.3%で最も割合が高く、次いで[公民館・集会所]が11.1%であった。
- 実施頻度については、「求めに応じて随時対応」が57.7%、次いで「月に1回」が15.0%であった。

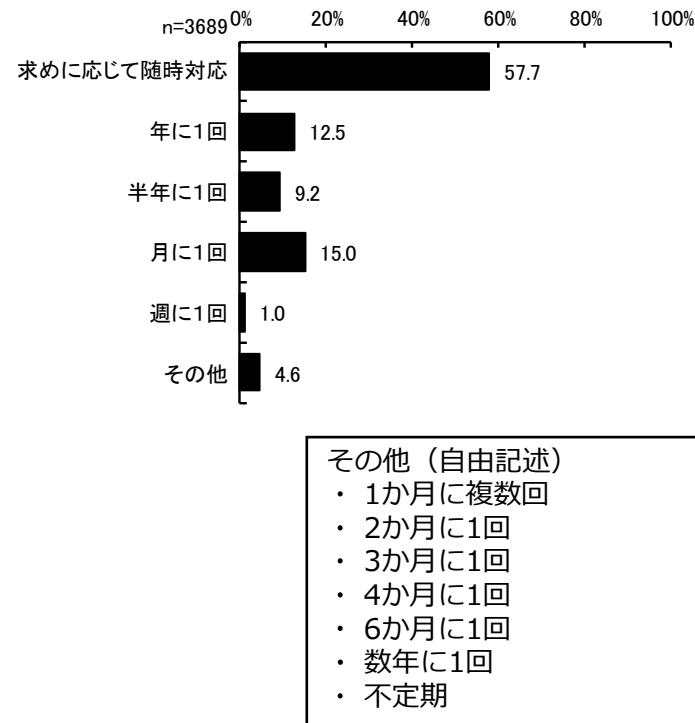
⑦ 健康サポートの方法



⑧ 対面での実施場所（複数回答）



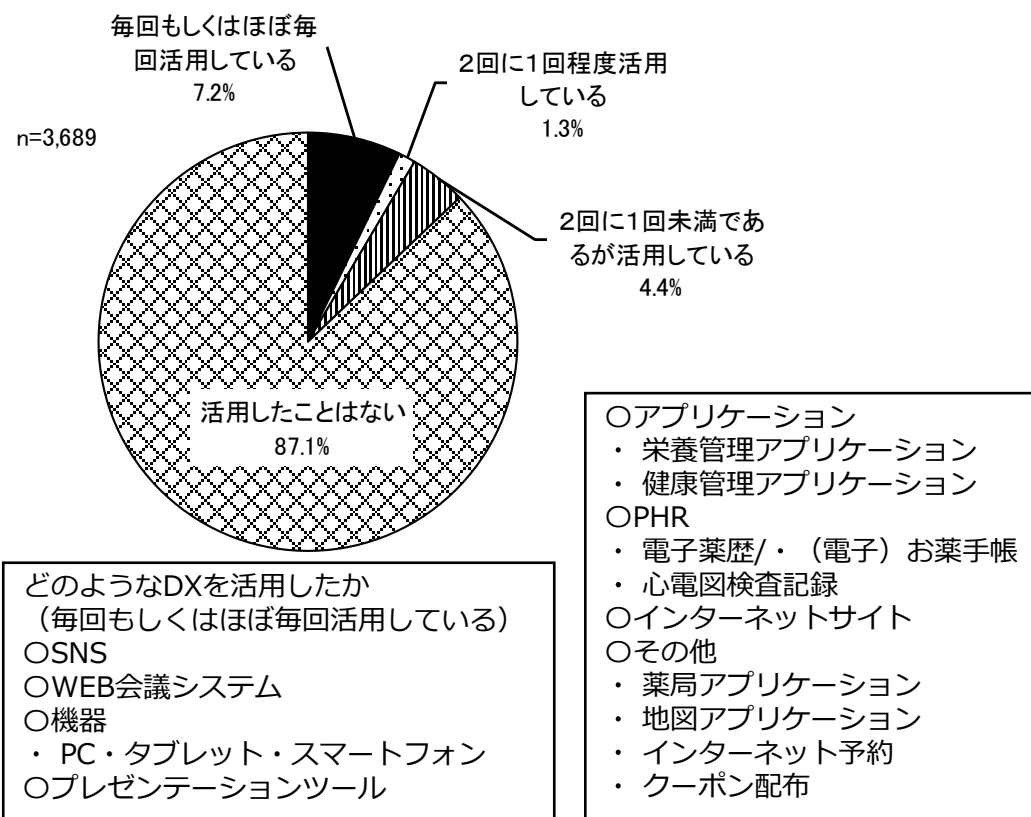
⑨ 実施頻度



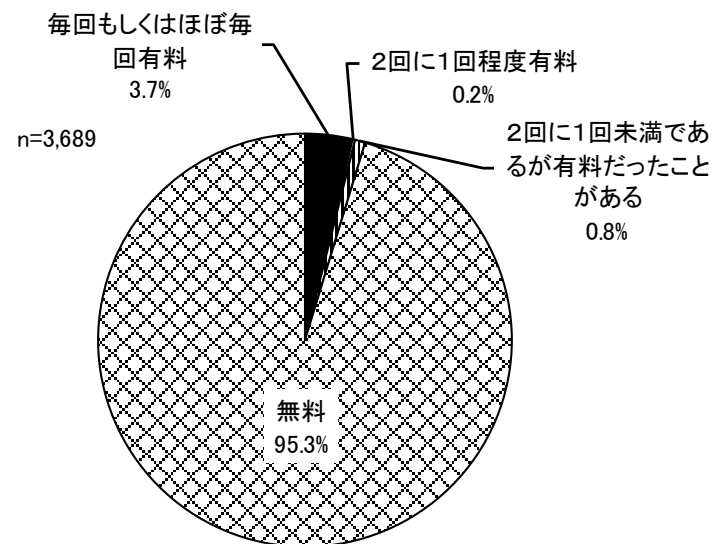
健康サポートの取組におけるDX活用状況等 ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- DX（スマホアプリ等）活用の有無・頻度については、「活用したことはない」が87.1%で最も割合が高く、次いで「毎回もしくはほぼ毎回活用している」が7.2%であった。
- 利用者の費用負担については、「無料」が最も割合が高く、95.3%であった。

⑩ DX（スマホアプリ等）活用の有無・頻度



⑪ 利用者の費用負担



利用者本人への調査結果（回答者の状況等） ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

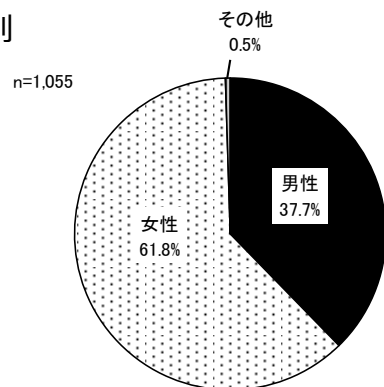
回答者の基本属性等

① 年齢

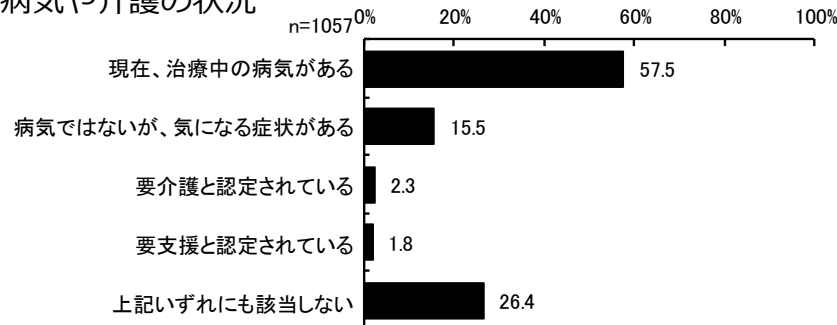
単位：歳

	調査数	平均値	最小値	最大値
合計	1045	52.0	10	96

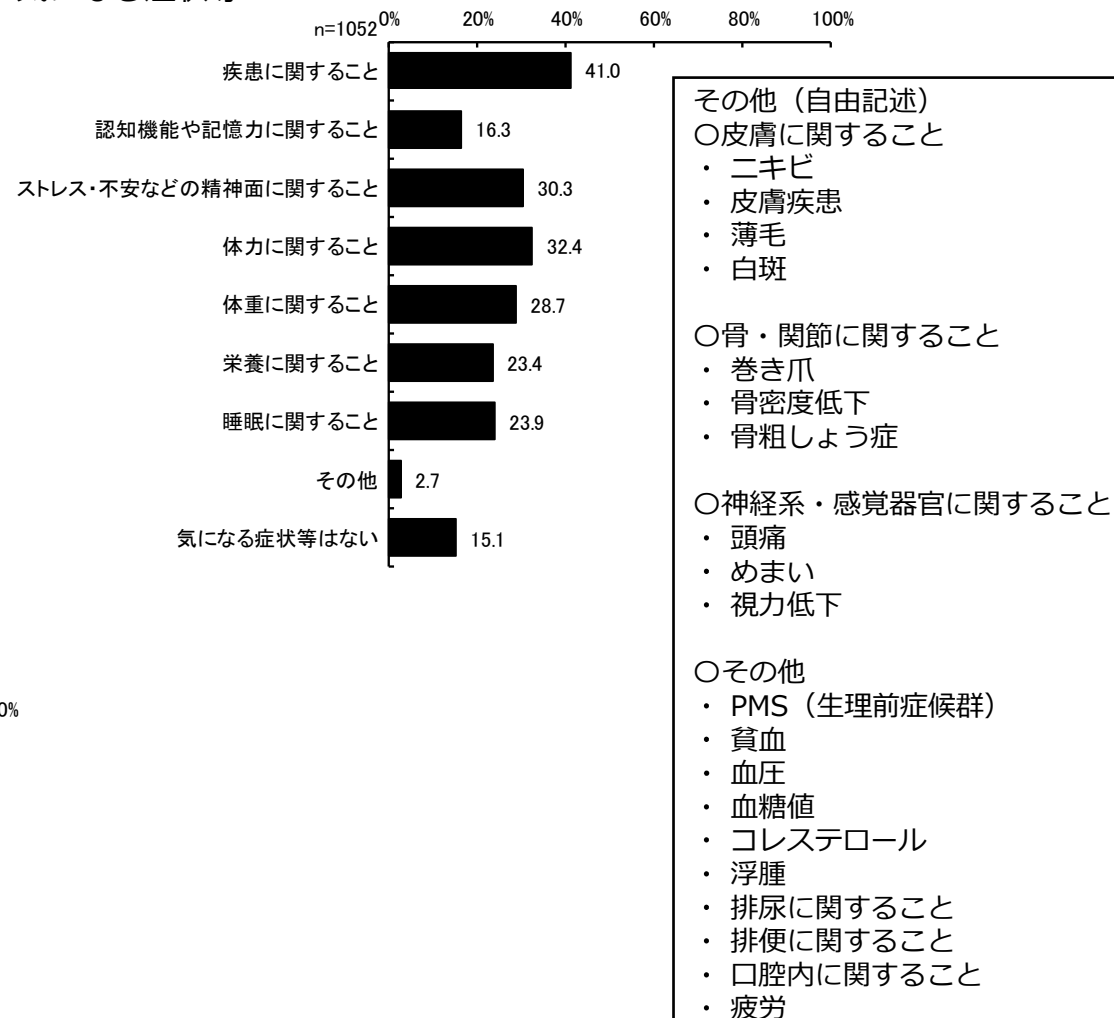
② 性別



③ 病気や介護の状況



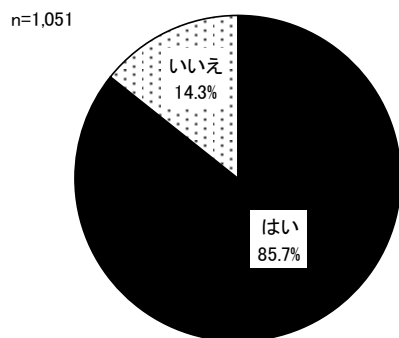
④ 気になる症状等



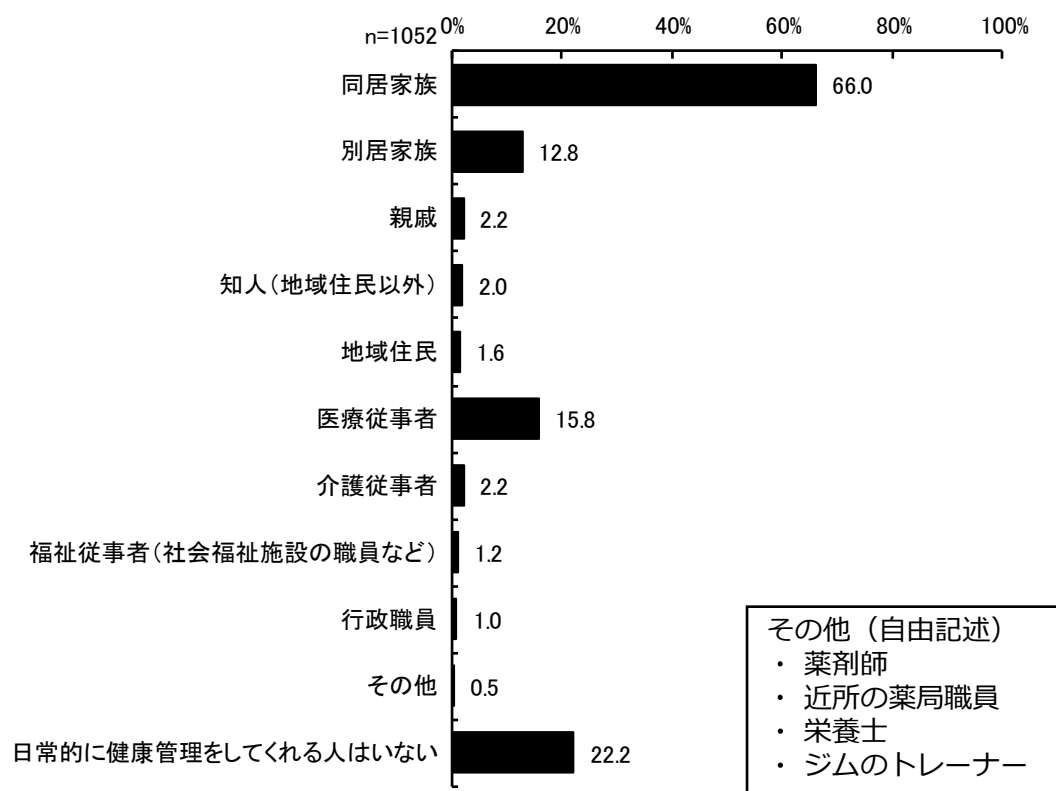
利用者本人への調査結果（回答者の状況等） ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 本人以外で、日常的に健康管理をしてくれる人については、「同居家族」が66.0%で最も割合が高く、次いで「日常的に健康管理をしてくれる人はいない」が22.2%であった。

⑤ 同居家族または同居人



⑥ 本人以外で、日常的に健康管理をしてくれる人（複数回答）



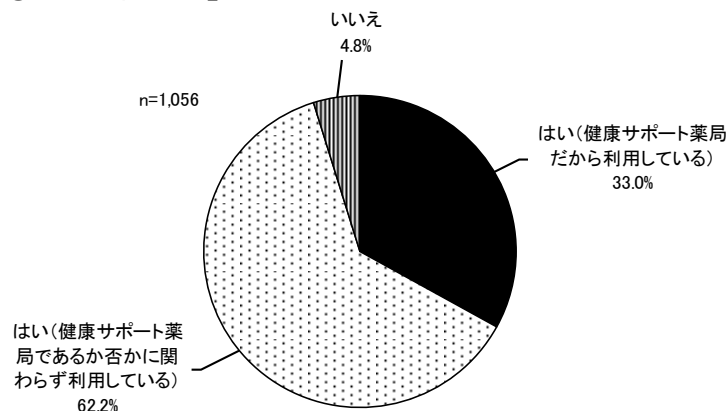
利用者本人への調査結果（健康サポートを提供する薬局との関わり等） ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 「対象薬局」を利用したことがあるかについては、「はい（健康サポート薬局であるか否かに関わらず利用している）」が62.2%、「はい（健康サポート薬局だから利用している）」が33.0%であった。

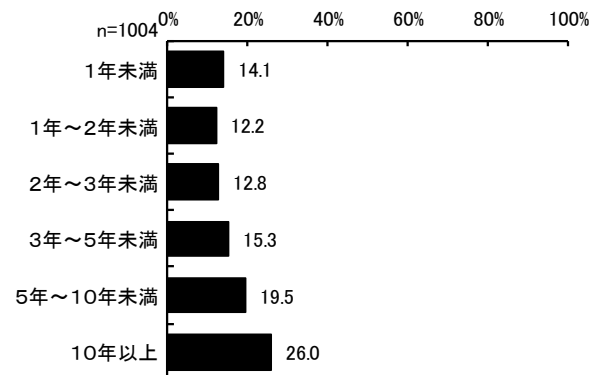
健康サポートを提供する薬局との関わり等

* 本アンケート調査の協力依頼状を回答者である利用者へ渡した人が所属する薬局のことを「対象薬局」と表した上で調査した。（以下同じ）

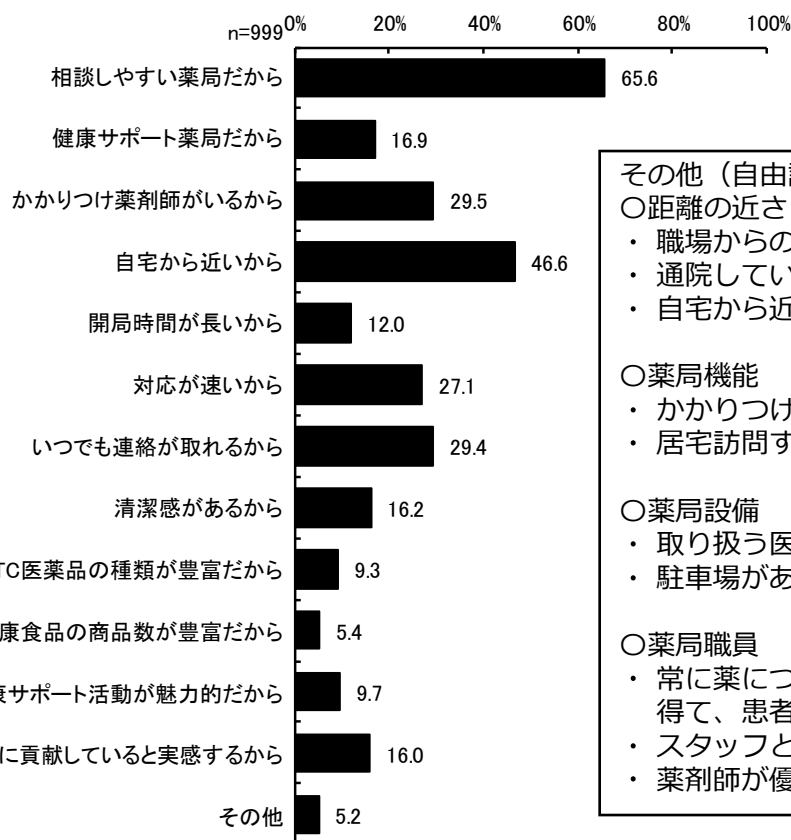
⑦ 「対象薬局」*を利用したことがあるか



⑧ 「対象薬局」をこれまでどの程度の期間利用したか



⑨ 「対象薬局」を利用している理由（複数回答）



その他（自由記述）

○距離の近さ

- ・ 職場からの距離が近いため。
- ・ 通院している病院から近いため。
- ・ 自宅から近いため。

○薬局機能

- ・ かかりつけ薬局であるため。
- ・ 居宅訪問する薬局であるため。

○薬局設備

- ・ 取り扱う医薬品数が豊富であるため。
- ・ 駐車場があるため。

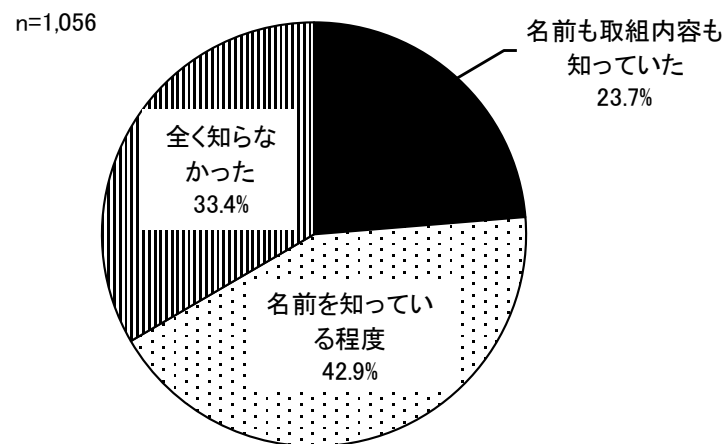
○薬局職員

- ・ 常に薬について勉強し、最新の知識を得て、患者に寄り添ってくれるため。
- ・ スタッフと薬局の雰囲気がいいため。
- ・ 薬剤師が優しく相談しやすいため。

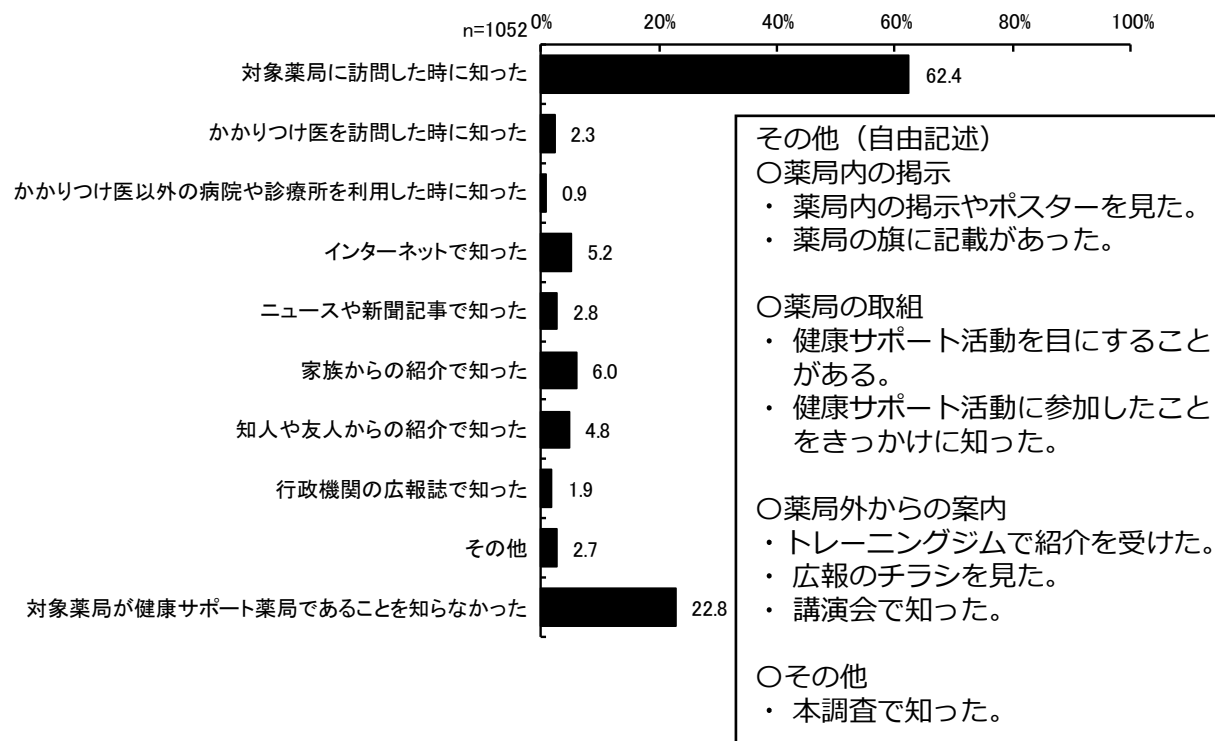
利用者本人への調査結果（健康サポート薬局の理解度等） ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 健康サポート薬局であることをどのように知ったかについては、「対象薬局に訪問した時に知った」が62.4%で最も割合が高かった。
- 一方で「対象薬局が健康サポート薬局であることを知らなかった」という回答も22.8%あった。

⑩ 健康サポート薬局という薬局の種類への理解度



⑪ 健康サポート薬局であることをどのように知ったか（複数回答）

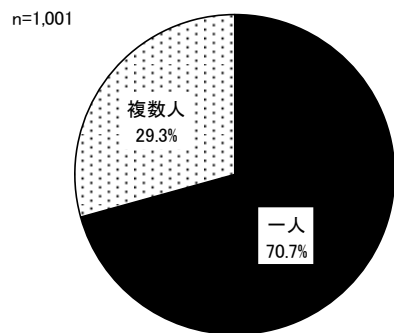


利用者本人への調査結果（健康サポートの個別の取組の利用状況） ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

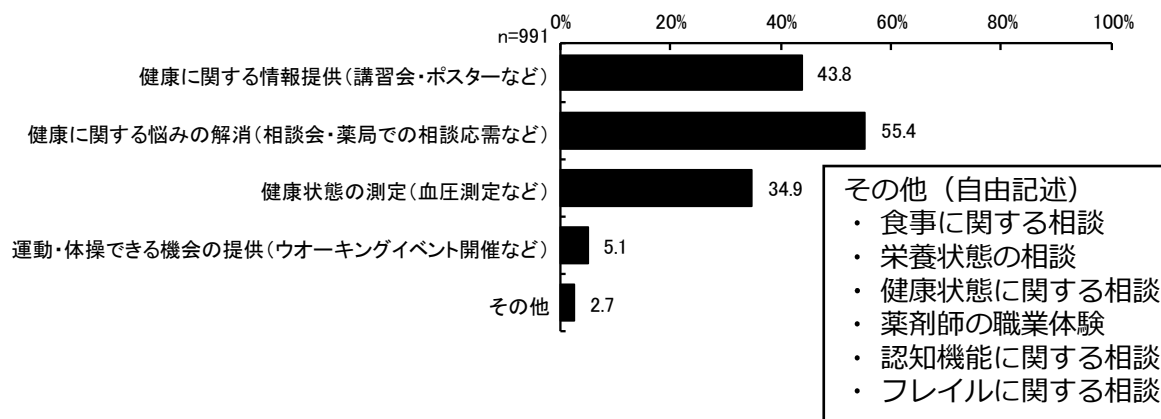
- 健康サポートの取組の種類については、「健康に関する悩みの解消（相談会・薬局での相談応需など）」が55.4%、「健康に関する情報提供（講習会・ポスターなど）」が43.8%であった。

健康サポートの個別の取組の利用状況

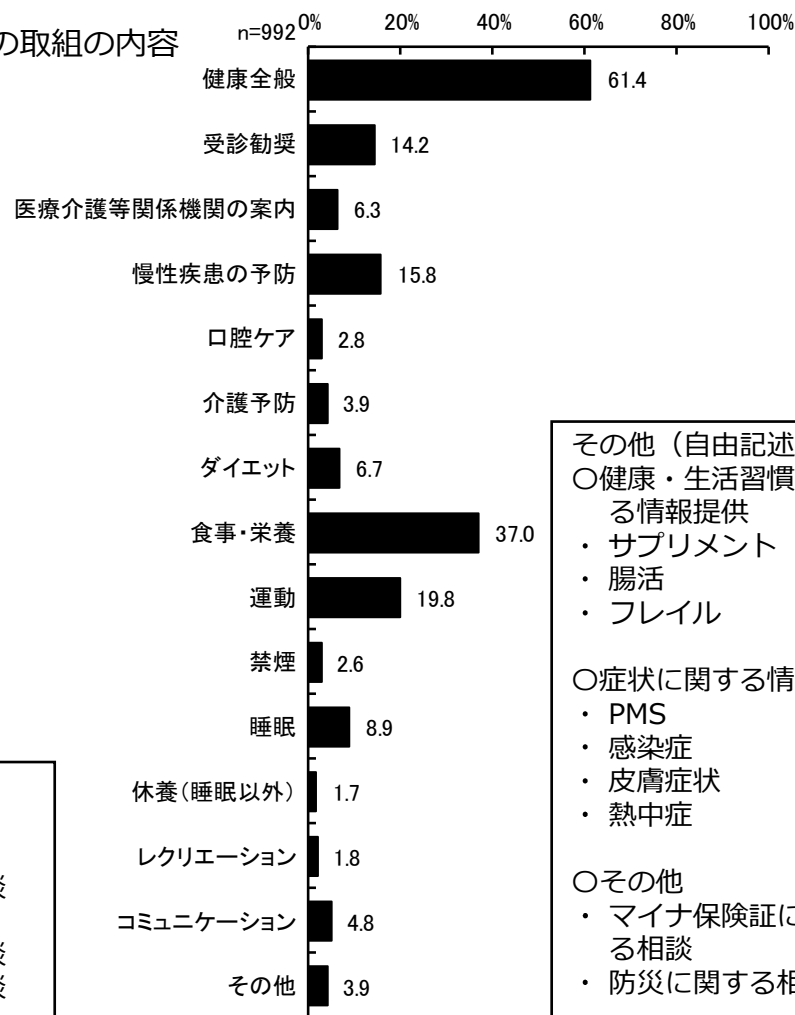
⑫ 健康サポートの取組で一度に対象とする利用者数



⑬ 健康サポートの取組の種類（複数回答）



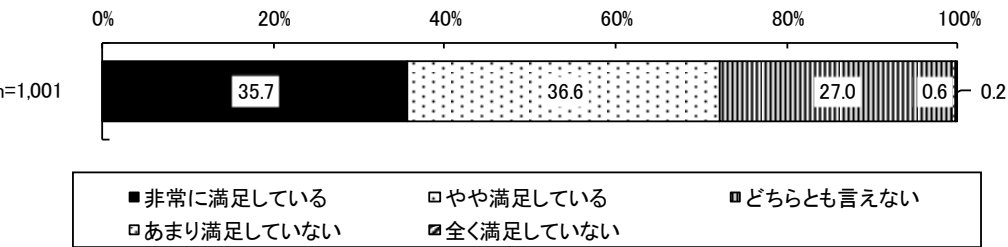
⑭ 健康サポートの取組の内容



利用者本人への調査結果（健康サポートの取組への満足度） ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 健康サポートの取組への満足度については、「やや満足している」が36.6%、「非常に満足している」が35.7%であった。

⑮ 健康サポートの取組への満足度



単位：％

		n数	満足度				
			非常に満足している	やや満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない
全 体		989	35.7	36.5	27.0	0.6	0.2
感 覚 メ ジ リ た ツ 程 ト 度 を	とてもメリットを感じた	340	80.0	18.2	1.8	－	－
	ややメリットを感じた	407	17.0	60.7	22.1	0.2	－
	どちらとも言えない	211	3.8	18.0	77.7	－	0.5
	あまりメリットを感じなかった	9	－	22.2	33.3	44.4	－
	全くメリットを感じなかった	5	－	20.0	60.0	－	20.0

「あまり満足していない」、「全く満足していない」取組の具体的な内容

- 質問が長い。
- 何をしているか分からない。
- 自分には難しかった。
- よく分からなかった。

「非常に満足している」、「やや満足している」取組の具体的な内容

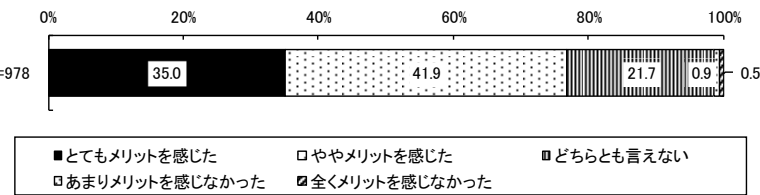
- 親身な対応・相談のしやすさ
 - 親切に対応してくれる。/ 説明が丁寧である。
 - 処方薬のこと以外も相談しやすい。
- 専門知識の提供
 - 疾患について詳しく教えてくれた。
 - 病院では聞きにくいことを教えてくれた。
 - 正しい感染症予防方法について教えてくれた。
 - 睡眠剤の服用のタイミングを教えてくれた。
 - 授乳中に飲める風邪薬について、わかりやすく教えてくれた。
- 測定結果に基づいた生活改善アドバイス
 - 骨密度測定に基づいたアドバイスをもらえた。
 - 測定機器を使って現在の健康状態が把握できた。
 - 自宅では測定できない血糖値の測定ができた。
- 食事と栄養に関するアドバイス
 - 管理栄養士が食事についてアドバイスしてくれた。
 - 1日に摂取してもよい糖質・塩分量が理解できた。
- 行動変容につながるアドバイス
 - 体調に合わせた病院を勧めてくれた。
 - 生活に取り入れやすいアドバイスをもらえた。
- 健康状態の改善
 - ストレッチや運動後に身体が軽くなり血流が良くなったことを感じた。
 - 正しい食習慣を勧められて試したところ、血糖値が下がって医師に褒められた。
- イベントへの参加
 - 医師の講演会に参加できた。
 - 体操に参加し体を動かすことができた。

※ 令和6年度厚生労働省医薬局総務課委託事業「健康サポート薬局における健康サポート機能実態把握のための調査一式」報告書（令和7年3月）（（株）エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所）より医薬局総務課において作成。

利用者本人への調査結果（健康サポートの取組を受けたことによるメリット）
＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 健康サポートの取組を受けたことによるメリットについては、「ややメリットを感じた」が41.9%、「とてもメリットを感じた」が35.0%であった。

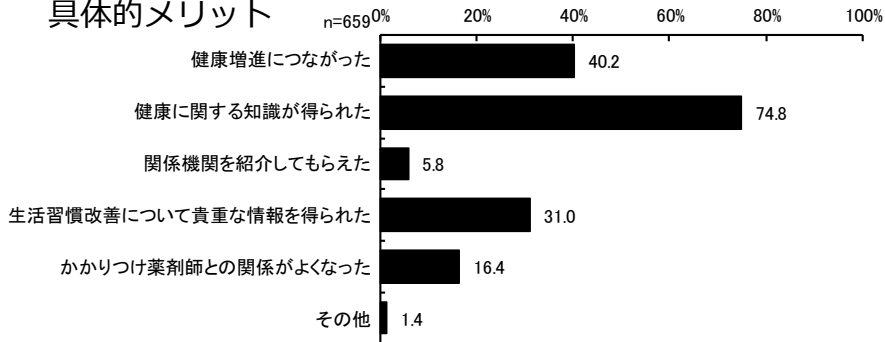
⑯ 健康サポートの取組を受けたことによるメリット



単位：％

		n数	メリットを感じた程度					
			とてもメリットを感じた	ややメリットを感じた	どちらとも言えない	あまりメリットを感じなかった	全くメリットを感じなかった	
全 体		967	34.9	41.9	21.8	0.9	0.5	
対象薬局の利用経験	はい(健康サポート薬局だから利用している)	331	53.8	32.0	13.6	0.3	0.3	
	はい(健康サポート薬局であるか否かに関わらず利用している)	603	25.2	48.1	25.0	1.2	0.5	
	いいえ	44	27.3	31.8	36.4	2.3	2.3	
対象薬局の利用期間	1年未満	134	30.6	41.0	26.1	2.2	－	
	1年～2年未満	113	25.7	49.6	24.8	－	－	
	2年～3年未満	117	29.9	47.0	22.2	－	0.9	
	3年～5年未満	146	29.5	46.6	22.6	－	1.4	
	5年～10年未満	178	41.6	39.3	18.0	1.1	－	
	10年以上	245	43.7	37.6	17.1	1.2	0.4	
対象薬局の利用頻度	1週間に2回以上	14	57.1	14.3	21.4	7.1	－	
	1週間に1回	41	61.0	29.3	9.8	－	－	
	1か月に1回	403	42.4	39.7	16.1	1.2	0.5	
	2～3か月に1回	256	30.5	47.3	21.5	－	0.8	
	2～3か月に1回未満	218	21.6	46.3	31.2	0.9	－	

「全くメリットを感じなかった」以外の回答の
具体的メリット



その他 具体的なメリット（自由記述）

- ・ 処方薬で生じる可能性のある副作用の知識が高まった。
- ・ まずはどのような事から始めたら良いかが分かった。
- ・ その指導を受けて実践してみようと思った。
- ・ 抱え込まない介護、自分も楽しみを見つける介護があるという事を教えてもらった。
- ・ 防災体験ができた。
- ・ WEB会議システムに慣れた。
- ・ 自分の骨密度が分かった。

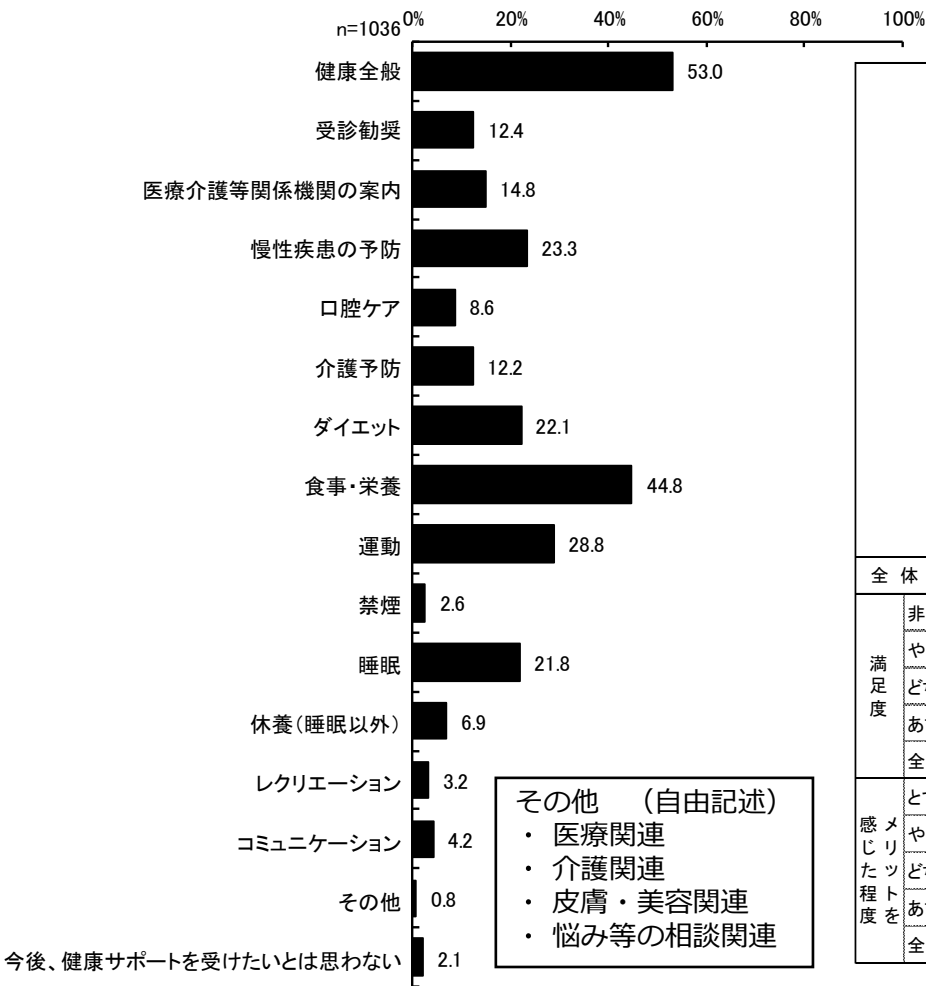
※ 令和6年度厚生労働省医薬局総務課委託事業「健康サポート薬局における健康サポート機能実態把握のための調査一式」報告書（令和7年3月）（株）エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所より医薬局総務課において作成。

利用者本人への調査結果（健康サポートの取組のニーズ）

<健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）>

- 今後、どのような内容の健康サポートを受けたいかについては、「健康全般」が53.0%で最も割合が高く、次いで「食事・栄養」が44.8%であった。

⑰ 今後、どのような内容の健康サポートを受けたいか



今後、どのような内容の健康サポートを受けたいか
（満足度別・メリット感別）

		受けたい健康サポート																今後、健康サポートを受けたいとは思わない
		n数	健康全般	受診勧奨	医療介護等関係機関の案内	慢性疾患の予防	口腔ケア	介護予防	ダイエット	食事・栄養	運動	禁煙	睡眠	休養（睡眠以外）	レクリエーション	コミュニケーション	その他	
全 体		1024	52.9	12.4	14.7	23.2	8.5	12.1	22.1	44.9	28.7	2.6	21.6	6.7	3.2	4.3	0.8	2.1
満足度	非常に満足している	356	65.2	17.4	19.4	29.8	11.0	16.3	24.4	51.1	37.4	4.2	26.1	7.0	4.8	6.2	0.8	0.6
	やや満足している	361	51.0	11.1	13.0	23.8	8.9	11.4	19.4	47.6	26.9	1.4	18.3	6.6	3.9	4.2	0.6	0.8
	どちらとも言えない	266	44.7	9.0	10.9	15.8	4.9	9.8	22.6	32.7	21.8	1.5	21.8	6.0	0.8	2.3	0.8	4.5
	あまり満足していない	6	50.0	-	-	16.7	-	-	-	33.3	16.7	-	16.7	16.7	-	-	-	16.7
	全く満足していない	2	-	-	-	-	-	-	100.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-
メリット感	とてもメリットを感じた	340	67.1	17.6	20.6	32.1	12.4	18.5	26.2	54.1	38.2	2.9	25.0	6.8	5.0	7.6	0.6	-
	ややメリットを感じた	408	50.5	12.3	12.3	21.8	7.4	10.5	19.1	46.1	25.5	2.7	21.8	7.4	2.5	2.2	0.2	1.0
	どちらとも言えない	209	42.6	6.7	10.5	14.8	4.8	7.7	23.4	30.1	22.0	1.4	18.7	5.7	1.9	3.3	1.4	4.3
	あまりメリットを感じなかった	9	22.2	-	-	22.2	11.1	11.1	-	11.1	-	-	11.1	-	-	-	-	22.2
	全くメリットを感じなかった	5	20.0	-	-	-	-	-	20.0	20.0	40.0	-	20.0	20.0	-	-	-	40.0

※ 令和6年度厚生労働省医薬局総務課委託事業「健康サポート薬局における健康サポート機能実態把握のための調査一式」報告書（令和7年3月）（株）エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所より医薬局総務課において作成。

利用者本人への調査結果（健康サポートの取組のニーズ）
＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 利用者票の調査結果から、利用者が今後どのような健康サポートを受けたいかを年齢階層別にみると、例えば「健康全般」、「慢性疾患の予防」、「ダイエット」では、年齢階層別に健康サポートを受けたい利用者割合に違いがみられた。

⑰ 今後、どのような内容の健康サポートを受けたいか（利用者の年齢階層別）

単位：％

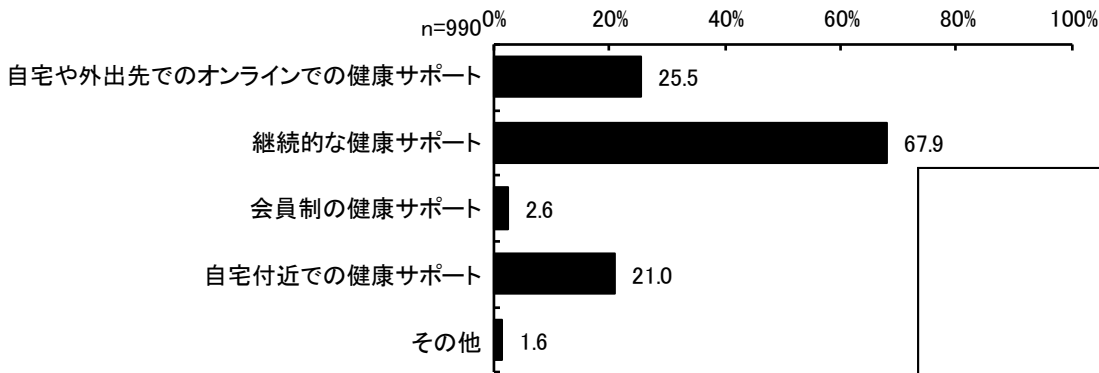
		n数	受けたい健康サポート																今後、健康サポートを受けたいとは思わない
			健康全般	受診勧奨	医療介護等関係機関の案内	慢性疾患の予防	口腔ケア	介護予防	ダイエット	食事・栄養	運動	禁煙	睡眠	休養（睡眠以外）	レクリエーション	コミュニケーション	その他		
全 体		1024	52.9	12.4	14.7	23.2	8.5	12.1	22.1	44.9	28.7	2.6	21.6	6.7	3.2	4.3	0.8	2.1	
利用者の年齢階層	40歳未満	288	41.0	10.1	10.1	16.7	8.7	4.5	29.5	47.9	27.4	2.8	27.1	8.7	3.1	4.2	0.3	2.8	
	40歳以上50歳未満	207	52.7	14.5	15.0	19.8	6.8	6.3	24.2	44.0	28.5	3.4	20.3	9.7	1.4	0.5	－	1.0	
	50歳以上65歳未満	293	55.6	12.3	14.3	27.6	7.8	13.3	25.6	42.0	26.6	3.1	20.1	5.8	4.1	4.1	1.7	2.7	
	65歳以上75歳未満	123	66.7	14.6	18.7	27.6	11.4	21.1	7.3	48.8	31.7	2.4	22.8	3.3	3.3	8.1	0.8	0.8	
	75歳以上	113	61.9	12.4	23.0	30.1	9.7	29.2	6.2	42.5	34.5	－	12.4	2.7	4.4	8.0	0.9	2.7	

※ 令和6年度厚生労働省医薬局総務課委託事業「健康サポート薬局における健康サポート機能実態把握のための調査一式」報告書（令和7年3月）（（株）エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所）より医薬局総務課において作成。

利用者本人への調査結果（健康サポートの取組のニーズ）
＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 今後、どのような内容の健康サポートを受けたいかについては、「健康全般」が53.0%で最も割合が高く、次いで「食事・栄養」が44.8%であった。

⑱ 今後、どのような方法で健康サポートを受けたいか



その他（自由記述）
・ 近くの会場で対面での相談

7.9

単位: %

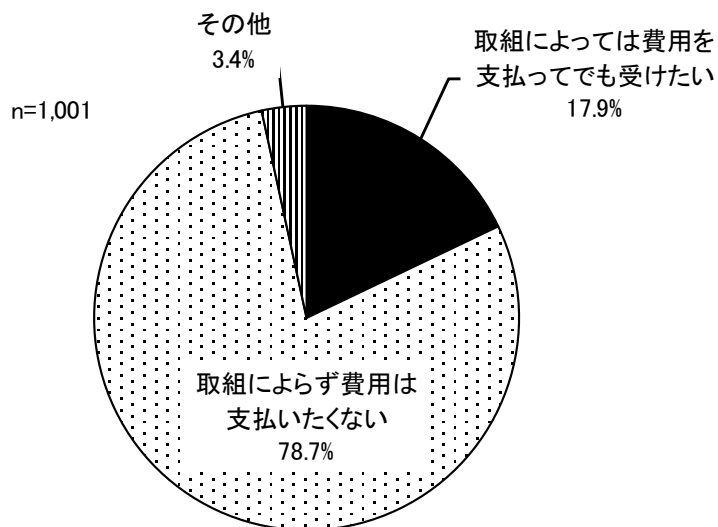
		n数	受けたい方法				
			自宅や外出先でのオンラインでの健康サポート	継続的な健康サポート	会員制の健康サポート	自宅付近での健康サポート	その他
全 体		979	25.4	67.8	2.7	21.0	1.6
利用者の年齢階層	20歳未満	8	37.5	37.5	－	25.0	－
	20歳以上30歳未満	100	38.0	53.0	5.0	21.0	1.0
	30歳以上40歳未満	167	29.9	56.3	3.6	28.1	0.6
	40歳以上50歳未満	201	27.9	61.2	2.5	20.4	3.0
	50歳以上60歳未満	211	29.4	70.1	2.4	19.9	1.9
	60歳以上70歳未満	122	21.3	79.5	1.6	18.0	2.5
	70歳以上80歳未満	118	8.5	84.7	2.5	21.2	0.8
	80歳以上90歳未満	49	8.2	87.8	－	12.2	－
	90歳以上	3	－	100.0	－	－	－

※ 令和6年度厚生労働省医薬局総務課委託事業「健康サポート薬局における健康サポート機能実態把握のための調査一式」報告書（令和7年3月）（（株）エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所）より医薬局総務課において作成。

利用者本人への調査結果（健康サポートの取組のニーズ） ＜健康サポート薬局に関する調査結果（令和6年度予算事業）＞

- 今後、どのような内容の健康サポートを受けたいかについては、「健康全般」が53.0%で最も割合が高く、次いで「食事・栄養」が44.8%であった。

⑨ 薬局（「対象薬局」以外も含む）で受ける健康サポートの取組への費用負担



健康サポートの取組への費用負担についての考え その他（自由記述）

- ・ 無料で行ってほしい。
- ・ 金銭的に余裕があれば有料でも構わない。
- ・ 健康サポートの内容による。
- ・ 必要な時に必要だと思われる金額でよい。
- ・ どちらとも言えない。
- ・ 対応してもらえるかかりつけ薬剤師なら躊躇せずに払う。

費用を支払っても受けたい取組（自由記述）

○食事に関する取組

- ・ 糖質制限に関連する栄養指導
- ・ 健康食品の選定方法
- ・ 食事や栄養に関する勉強会
- ・ 栄養士の適性なカロリー計算に基づいた食事に関する料理教室

○運動や体力に関する取組

- ・ 体操・ストレッチ教室
- ・ ダイエットのサポート
- ・ ヨガ教室

○検査・測定に関する取組

- ・ 健康診断の結果に基づくアドバイス

○講座や講演会

- ・ 医師・薬剤師を交えた講演会
- ・ 特定のテーマに関する講座・講習会

○疾患や医薬品に関する取組

- ・ 処方薬に関するアドバイス

○その他

- ・ 継続的な健康状態のサポート
- ・ 他の病院関係者も交えた健康相談
- ・ 個別相談
- ・ アンチエイジングに関する相談
- ・ 体験型の健康サポート